

発行日 2020年11月29日

2020 年度
日本学生オリエンテーリング選手権大会
スプリント競技部門
要項 3(プログラム)



期 日	2020年(令和2年) 12月6日(日)
開 催 地	栃木県那須塩原市
競技会場	那須野が原公園
主 催	日本学生オリエンテーリング連盟 栃木県オリエンテーリング協会
主 管	2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント競技部門実行委員会
共 催	一般社団法人大学スポーツ協会(令和2年度スポーツ庁補助事業)
後 援	那須塩原市 那須塩原市教育委員会 公益社団法人日本オリエンテーリング協会

協 賛

FRENSON
RUN WITH CONFIDENCE

SALMING.
no nonsense.



目次

歓迎の言葉・ご挨拶

Page 2 - 3

1

はじめに

Page 4

- 1.1 開催内容
- 1.2 略称、呼称
- 1.3 用語説明

2

タイムテーブル

Page 5

3

大会全般

Page 6 - 12

- 3.1 主管の連絡先
- 3.2 大会公式Webサイト
- 3.3 立入禁止区域
- 3.4 トレーニングトレイン・モデルイベント
- 3.5 受付
- 3.6 選手変更申請
- 3.7 欠場連絡
- 3.8 観戦
- 3.9 大会適用規則
- 3.10 その他特記事項
- 3.11 過去の気象情報
- 3.12 傷害保険
- 3.13 忘れ物
- 3.14 大会中止時の対応
- 3.15 新型コロナウイルス感染症への対応指針
- 3.16 新型コロナウイルス感染症予防に関する注意事項
- 3.17 地図販売
- 3.18 その他の注意事項

4

会場へのアクセス

Page 13 - 14

- 4.1 会場所在地
- 4.2 アクセスマップ
- 4.3 車・チャーターバスでの来場
- 4.4 公共交通機関での来場

5

競技情報

Page 15 - 18

- 5.1 競技形式
- 5.2 地図仕様
- 5.3 コントロール位置説明表
- 5.4 コース概要・競技時間
- 5.5 テレインの概要
- 5.6 公式掲示板
- 5.7 テクニカルミーティング
- 5.8 テレイン・コースの注意事項

5.9 服装および所持品

5.10 ナンバーカード

5.11 パンチングシステム

5.12 給水所・救護所

5.13 調査依頼・提訴

5.14 ドーピング検査

5.15 昨年度入賞者のヒート分け

5.16 使用テーブル一覧

6

スプリント競技詳細

Page 19 - 24

6.1 当日の流れ

6.2 会場

6.3 トイレの利用制限

6.4 選手権の部予選/一般の部スタート

6.5 選手権の部決勝スタート

6.6 遅刻スタート

6.7 フィニッシュ

6.8 表彰式・閉会式

7

チームオフィシャル

Page 25

8

スタートリスト

Page 26 - 29

8.1 選手権の部

8.2 一般の部

9

参加者数一覧

Page 30

10

大会役員

Page 31

日本学生オリエンテーリング選手権 実施規則

Page 32 - 38

歴代入賞者紹介

Page 39

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

歓迎の言葉・ご挨拶

那須塩原市長
渡辺 美知太郎



2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会スプリント部門に参加される選手・役員の皆様、那須塩原市によろそお越しくございました。

本大会が全国各地から多くの学生アスリートの皆様をお迎えし、開催されますことに那須塩原市民を代表し、お祝いと歓迎を申し上げます。

那須塩原市は、那須火山帯に属した湯量豊富な塩原温泉郷や板室温泉、三斗小屋温泉をはじめ、四季折々に彩りを見せる塩原渓谷や沼ッ原湿原を代表とした様々な観光資源を有するほか、酪農業が盛んで生乳生産本州一を誇ります。

また、那須塩原市では、コロナ禍においても「日本一安心」な観光地とするため、旅館やホテル等の宿泊施設従事者のPCR検査を実施しております。競技を終えた後には、塩原温泉郷や板室温泉で疲れた体を癒し、那須塩原市産の牛乳や新鮮な野菜などを存分に味わっていただき、那須塩原市の素晴らしさを感じていただけることを願っております。

結びに本大会を開催するに当たり、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により様々な困難があった中、感染症対策等に取り組み、選手が競技する環境を作られた日本学生オリエンテーリング実行委員会の皆様に敬意を表するとともに、選手の皆様が本大会で思う存分オリエンテーリングを楽しんでいただき、思い出に残る大会となることを祈念申し上げまして、歓迎の挨拶いたします。

栃木県オリエンテーリング協会会長
岡崎 良昭



学生の皆さん、10月に引き続きオリエンテーリング競技のために再度本県を訪問いただきありがとうございます。

10月の選手権ではコロナ禍の中、2日間2種目の競技を提供ができなくて、当協会としても大変残念な思いをしました。その後日本学連の方から学生日本選手権（インカレ）という重要な大会が欠けることがあってはならない、可能性があるならばそれを追求したいという相談があり、12月の閑散期ならば競技に適する場所があるということで合意して企画を進めることとなりました。非常に短期間ではありますが、当協会が渉外面でこの競技会を微力ながら支えさせていただきました。

しかしながら、今回集まっていた競技スタッフの皆さんの「よりよいコースを」、という熱意は尋常ならざるもので、工夫に工夫を凝らした大変練り込んだものになっております。何かと制限の多い中での開催となりますが、選手の皆さんは全力を尽くして最高のパフォーマンスを発揮していただけるよう、今後の野外スポーツの存続に光を与える貴重な機会となるよう祈念して挨拶いたします。出場される皆さん、頑張ってください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者



本来ならロング競技の前日に開催されるはずだったスプリント競技ですが、コロナ禍における諸事情により中止となりました。しかし、どうしてもインカレスプリントを開催したいという学生の皆さんの強い思いから、何とか今回開催される運びとなりました。ただし、競技面、運営面の多くにおいて、例年とは異なるものとなっています。競技面においては、選手権が予選・決勝方式で、希望すれば誰でも予選に出場できること。運営面においては、現役の学生自身がその中心となっていることです。異例づくめではありますが、準備期間が非常に短かったことを考えれば、開催にこぎ着けられたこと自体に意義があるものと考えます。一方で、テレインから遠方となる大学、活動に制約のある大学にとっては、参加が難しい、あるいは参加できないということも忘れてはなりません。さらに、開催日を目前にして、全国的に感染が拡大しつつあることも気がかりです。

なお、コロナ禍がなかったとしても、インカレスプリントの今後には不透明なところがあります。財政面や運営におけるマンパワーの問題などです。日程やテレインの問題もあります。インカレは誰かに与えられるものではなく、学生の皆さんが自身で作るものであり、今後について主体的に議論し、方向を模索していただきたいと思います。

ロング競技のプログラムにも書きましたが、参加する学生の皆さんは、前述したとおりの厳しい状況下のインカレであること、インカレは当たり前のようにあるものではないことを踏まえたうえで、参加できなかった人の分まで競技を楽しんでください。ただし、会場や宿泊先、交通機関の利用時など、人と接する際には、指示された感染拡大防止策を徹底していただきたいと思います。

最後になりましたが、未曾有の事態の中、多忙な日々の合間を縫って準備に当たっていただいた実行委員会とその関係者の皆さんに改めて感謝いたします。インカレロングに続き、地元関係者の皆様には、様々な面でご指導ご協力をいただきました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼を申し上げます。



今回のインカレスプリントが開催されるまでには、まさに波乱万丈の物語がありました。

7月、旧実行委員会より日本学生オリエンテーリング連盟宛に現行の日程および開催地でのインカレスプリントの開催が不可能であるとの通達を受け取りました。それに伴い幹事会を開催し議論をいたしました。どうしても準備期間の短さや開催地や開催形態のメドがたたないという理由から、インカレスプリントの非開催という選択肢が第一に挙げていました。

しかし、幹事達で話し合いをしたり、学生の思いを聞いたりしているうちに、一個人、そして幹事長として、やはり学生にはインカレスプリントが必要であると考えました。大学選手権は4種目から構成されており、そのすべての競技に学生は熱を注ぎ、努力をしてくれています。そうした学生が報われるような場をどうしても設けるべきであると考えたのです。そこで、私が実行委員長となる形でこのように開催することを決意いたしました。

もちろんインカレは一人で開催することはできません。我々学生のためを思い、自分の時間を削ってまでインカレ運営をしてくださっているOB・OGの皆さん。そして今回は、日頃一緒に活動してきた仲間のために、インカレを守るために、様々な思いを持って運営メンバーに加わっていただいた学生の運営者の皆さん。このような方々とインカレを作り上げています。選手の皆さんはそうした運営者の思いに答えるためにも、ぜひとも最高のレースを繰り広げてください。私も一選手として全力を尽くします。

最後になりましたが、このようなコロナ禍の中でインカレスプリント、そして学生たちを受け入れてくださった那須塩原市のみなさま。そして急なスケジュールをお願いをしたにもかかわらず、テレインとして公園を貸し出していただき、開催を認めていただいた那須野が原公園管理事務所のみなさま。本当にありがとうございました。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

1 はじめに

1.1 開催内容

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則 2.1 項に定められた『スプリント競技部門』（以下、選手権の部）を開催します。同時に、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、一般の部）を開催します。

1.2 略称、呼称

要項3では、以下の略称、呼称を使用することがあります。

分類	略称、呼称	正式名称、備考
大会	インカレ	日本学生オリエンテーリング選手権大会
規則・規程	インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
	ISSprOM2019	国際スプリントオリエンテーリング地図図式 International Specification for Sprint Orienteering Maps 2019
組織	日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技部門・クラス	スプリント	個人スプリント競技部門
	選手権の部	インカレ実施規則第2.1項に定められた スプリント競技部門
	一般の部	選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門

1.3 用語説明

要項3では、競技に関して以下の用語を使用することがあります。

用語	意味
パンチング スタート	スタート時にSIスタートステーションの穴にSIカードを差し込み出走するスタート方式（選手権の部予選・一般の部で採用）
タイムスタート	スタート時間になったらパンチすることなくそのまま出走するスタート方式（選手権の部決勝で採用）
走り抜け フィニッシュ	計時線通過時を正式なフィニッシュタイムとする方式（全てのクラスで採用）

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

2

タイムテーブル

時刻	選手権の部	一般の部
9:30	会場・駐車場 開場	
	受付開始	
10:30	受付終了	
	選手権の部予選・一般の部 競技開始	
11:50	予選スタート閉鎖	スタート閉鎖
12:10	フィニッシュ閉鎖	
12:30	調査依頼受付締め切り	
12:50	選手権待機所 入場締め切り	
	地図販売開始	
—		(確定次第) 表彰式
13:40	決勝競技開始	
15:30	スタート閉鎖	
16:00	フィニッシュ閉鎖	
	選手権の部 表彰式・閉会式	
16:20	調査依頼受付締め切り	
17:30	会場閉鎖	

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3

大会全般

3.1 主管の連絡先

主管の連絡先を以下に示します。大会当日は基本的に電話で、それ以外の期間はメールで連絡してください。

▼大会当日(12月6日(日))

運営責任者 : 友田 賢吾
TEL : 080-2213-3834
メール : ics2020info@googlegroups.com

▼大会当日以外

メール : ics2020info@googlegroups.com

3.2 大会公式Webサイト

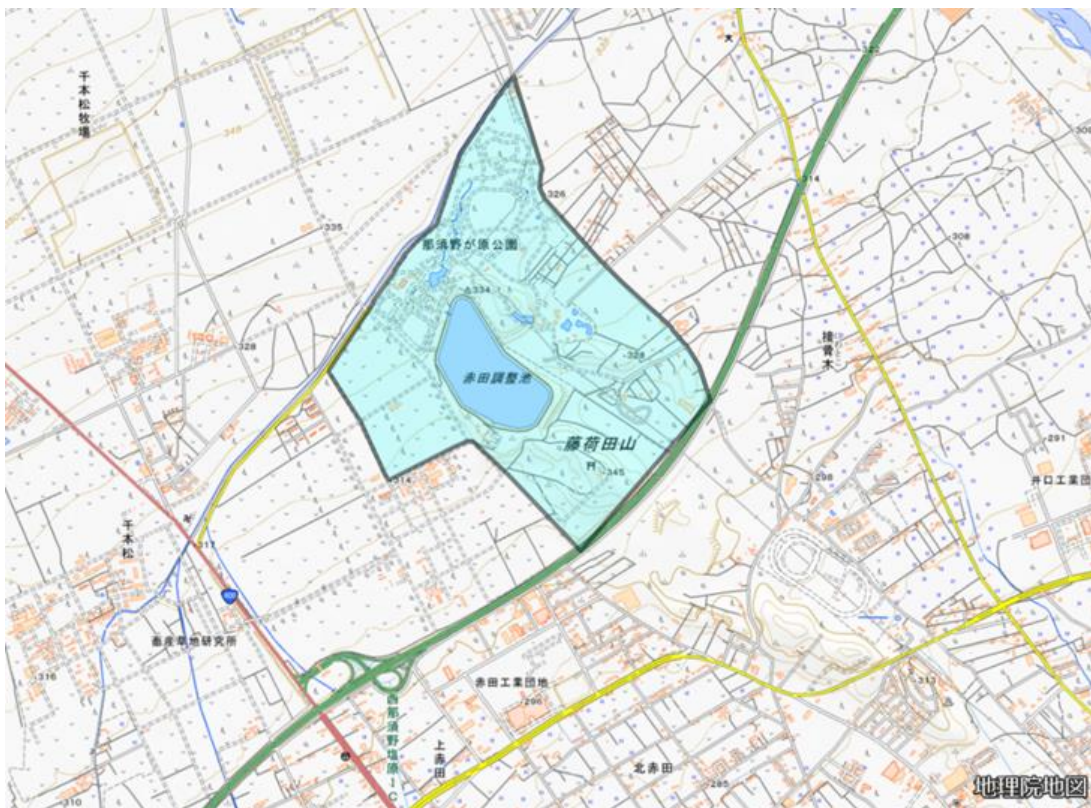
<http://www.orienteering.com/~ics2020/>

3.3 立入禁止区域

本大会への参加を予定している者(チームオフィシャル含む)は、本大会終了までの期間、以下の区域へのオリエンテーリング目的(トレイン視察含む)での立ち入り行為を禁止します(競技参加時を除く)。なお、東北自動車道を除いた周縁道路も上記区域に含みます。

会場へのアクセスは4.2 項アクセスマップを参照して来場してください。

栃木県那須塩原市 那須野が原公園周辺



※地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp/>)を加工して作成

3.4 トレーニングトレイン・モデルイベント

本大会ではモデルイベントの開催及び、トレーニングトレインの指定は行いません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.5 受付

本大会の受付は大会本部にて行います。

受付時間は 9:30～10:30 です。

各大学の代表者は感染防止に関する申告書を受付に提出してください。配布物はこの申告書と引き換えに大学単位での配布となります。

申告書の書式は事前に大会公式 Web サイトで公開します。事前に記入の上、提出してください。

受付で待機の際は役員の指示に従い、前後の人と間隔を確保してください。

<配布物提供>

- ・ レンタル SI カード
- ・ レンタル SI カード 番号一覧表
- ・ ナンバーカード(選手各 1 枚)
- ・ スタート地区までの誘導地図
- ・ オフィシャル ID カード

<チームオフィシャルの変更>

当日のオフィシャル変更は、変更後のオフィシャルが **2 週間前からの行動履歴の記録があること**、およびガイドライン記載の**参加見合わせ事項に該当しない**ことを条件に認めます。

また、決勝進出者には、決勝進出者集合場所にて選手権の部決勝の為に以下を配布します。

- ・ レンタル SI カード
- ・ ナンバーカード(選手各 1 枚)
- ・ スタート待機所内地図

3.6 選手変更申請

本大会では、選手権の部及び一般の部での選手変更申請・代走は受け付けません。

3.7 欠場連絡

本大会では感染症の流行に伴い、**欠場する場合は必ず連絡が必要**です。

受付の際に必ず欠場者の申告をしてください。大学単位で欠場する場合など、当日会場に来場できない場合は(ics2020info@googlegroups.com)までメールでの連絡をお願いします。

3.8 観戦

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、**選手権の部・一般の部出場者およびチームオフィシャル以外は会場内への立ち入りは認めません。**

- ・ 選手権の部決勝において中継映像を含むライブ配信の公開を行います(13 時頃開始予定)。自身の PC やタブレット、スマートフォンから大会公式 Web サイトに当日掲載される URL よりアクセスしてください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.9 大会適用規則

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則が適用されています。本要項末尾の当該章から確認いただけます。

ただし、以下の条項を不適用とします。なお、変更内容については以下の通りです。

▼不適用条項とその変更内容

条項番号	不適用条項	変更内容
<u>1.4</u>	インカレ実施規則で定められた事項を、当該インカレに限定して不適用とし、変更する必要がある場合、2 か月前までに理事会へ申し出なければならない。また、不適用条項は技術委員会の諮問及び理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は、要項に明記される。	「2 か月前まで」→「事前に」に変更 要項3 発行以降はイベント・アドバイザーにて承認を行い、公式掲示板に掲示する。
<u>2.3</u>	単一レース競技で行う。	予選決勝方式で行う。
<u>4.5</u>	スプリントの競技者数は、男子 60 名、女子 40 名とし、別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し、別に定める規則によって、競技者数を追加することができる。スプリントの競技者は、選手登録名簿に記載された者とする。	スプリントの競技者数は、予選への出場数に制限は設けない。決勝への通過者を男子 60 名、女子 40 名とする。ポーターが同タイム複数名の場合は出場者数を追加することを可能とする。スプリントの競技者は、選手登録名簿に記載された者とする。
<u>5.2</u>	インカレの要項の発行時期は、以下の通りとする。 要項1 (6 か月前): 開催日、開催地、主管者の連絡先、競技責任者の氏名、イベント・アドバイザーの氏名、立入禁止区域 要項2 (4 か月前): 日程、トレインの概要、地図に関する情報(縮尺、等高線間隔、走行可能度表示)、トレインの標高(コースの 15 % 以上が 1,200 m を超える場合のみ)、採用するパンチングシステム、コース設定者の氏名、トレーニング・モデルイベントに関する情報、一般クラス・併設大会がある場合その情報、観戦者のための情報、宿泊・輸送に関する情報、参加費、申込方法、申込締切日、申込用紙 要項3 (2週間前): 気象、特殊な地図表記、コース距離・登距離、優勝設定時間、特殊な位置説明、スタート時刻、競技のタイムスケジュール、集合場所、代表者ミーティングに関する情報、承認された実施規則の不適用条項と変更内容、その他競技に関する留意事項	要項1 (6 か月前): ・「6 か月前」→「3 か月前」に発行 要項2 (4 か月前): ・「4 か月前」→「1 か月前」までに発行 要項3 (2週間前): ・「2 週間前」→「1 週間前」までに発行
<u>8.1</u>	ロング、ミドル、スプリントのスタート抽選は、イベント・アドバイザーの元で、あるいは公開で行われ、当該競技前日の 17 時までには発表される。	予選のスタートリスト設定にのみ適用。決勝は予選結果を踏まえて当日発表。
<u>18.2</u>	スプリントの地図は JOA の『日本スプリントオリエンテーリング地図図式』に適合したものを使用する。	ISSprOM2019 を使用する

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

<u>19.1</u>	(変更内容欄記載事項を追記)	スプリントのコース設定記号の寸法は、縮尺が 1:4000 のときの mm 単位で規定される。 オリエンテーリングの開始地点は、正三角形（1 辺 7mm） コントロールは、円（直径 6mm） フィニッシュは、2 重同心円（直径 5mm と 7mm） 誘導区間は、破線
<u>19.2</u>	三角形、及び、円の中心は特徴物の正確な位置を示す。コントロールフラッグが特徴物の周囲に設置される場合でも、特徴物を中心として印刷される。	スプリントにおいては、特徴物の周囲に設置される場合はその方向に応じて中心点からずらす。
<u>20.1</u>	(変更内容欄記載事項を追記)	クロスハッチングは立ち入り禁止範囲の周囲のみをかける場合がある。また、テープによって通行不能とする箇所には同様の理由で片側にクロスハッチングを付ける。
<u>20.2</u>	(変更内容欄記載事項を追記)	スプリントにおいては通行禁止も 20.1 を適用し、クロスハッチングにて表記する。
<u>21.1</u>	コントロールの位置説明は、JOA の『コントロール位置説明仕様』に従って作成する。	ISCD2018 を使用
<u>21.3</u>	コントロール位置説明表は、スタート枠にて配布される。また、事前に配布される位置説明表の大きさを公表するのが望ましい。	予選ではコントロール位置説明表の配布は行わない。決勝のみ配布する。
<u>23.4</u>	コントロールは、30m 以内(縮尺 1:5,000 または 1:4000 では 25m 以内)に近接して設置すべきでない。 さらに特徴物が同じコントロールは 60m 以内(縮尺 1:5,000 または 1:4,000 では 30m 以内)に近接すべきでない。	縮尺が 1:4000（または 1:3000）の場合、コントロール円間の距離は、実走距離で 25m 以上と直線距離で 15m 以上を満たす。
<u>30.2</u>	インカレ実行委員会は、当該インカレの 1 年前までに理事会の承認のもとで組織される。	「1 年前」→「3 か月前」に変更
<u>34.2</u>	イベント・アドバイザーは、技術委員会の助言のもとに、技術委員会の委員の中から理事会が指名する。指名は、当該インカレの 1 年前までに行われる。	「1 年前」→「3 か月前」に変更

3.10 その他特記事項

- ・本実行委員会に属する日本学連加盟員のうち、数名が本大会の競技に参加しますが、競技の公平性に関わる運営は一切行っておりません(イベント・アドバイザー承認事項)。
- ・**ピン付きシューズでの出走を禁止します。**

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.11 過去の気象情報

本大会が開催される12月6日の、栃木県那須塩原市周辺における過去5年間の気象情報を以下に示します。本大会のトレインは、この観測地点から南東へ約5kmに位置しています。

日付		気温 [°C]			日照時間 [h]	降水量 [mm]	平均風速 [m/s]
		最高	最低	平均			
2019年	12月6日	5.5	-1.4	2.9	3.9	0.0	3.4
2018年	12月6日	6.5	4.1	5.3	0.0	4.5	2.3
2017年	12月6日	6.5	-2.7	1.8	6.9	0.0	2.5
2016年	12月6日	11.6	0.3	4.7	5.1	0.0	3.6
2015年	12月6日	7.6	2.3	5.3	4.5	0.0	2.6

▼観測地点

栃木県 黒磯
北緯 36 度 58.9 分
東経 140 度 01.1 分

▼参考情報

気象庁ホームページの
気象統計情報
<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

3.12 傷害保険

傷害保険は大会期間における競技の最中及び自宅から会場までの往復途上に適用されます。怪我等により治療を受けた場合は、以下のとおり保険金が支払われます。

- ・死亡、後遺障害・・・130 万円
- ・入院・・・・・・・・・・1,500 円/日（180 日限度）
- ・通院・・・・・・・・・・1,000 円/日（事故の日から180 日以内で90 日限度）

参加者は、健康保険証と本人確認書類(運転免許証等)を持参してください。

この傷害保険についての問合せ・保険の請求等については、実行委員会までご連絡ください。

3.13 忘れ物

本大会の忘れ物は、大会終了後約1ヶ月間保管します。忘れ物の情報は、大会公式 Web サイトにてお知らせします。

3.14 大会中止時の対応

以下の場合には、大会を中止します。ご了承ください。

- ・天候悪化や感染症流行などの事情により、主管者が参加者の安全を確保できないと判断した場合。
- ・周辺交通機関・道路状況のトラブル等により、参加者の大半が来場できない場合、または来場できないと予想される場合。

大会中止時の案内は、当日朝6:00までに大会公式Webサイトに掲載します。

3.15 新型コロナウイルス感染症への対応指針

大会実行委員会では、公益財団法人日本スポーツ協会が発行している「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参照し作成した「日本学生オリエンテーリング選手権大会開催における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」に基づき、準備および当日運営を行ってまいります。

日本学生オリエンテーリング選手権大会開催における新型コロナウイルスガイドライン
(http://www.orienteering.com/~ics2020/documents/covid_guideline.pdf)

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

3.16 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項

○大会参加前

- ・ 上述の「日本学生オリエンテーリング選手権大会開催における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を読み、これを遵守してください。
- ・ 本大会への参加は、自身の健康状態を考え絶対に無理をしないでください。
- ・ 本大会公式 Web サイトに掲載予定の様式を利用し、**本大会前 2 週間の行動履歴を記録してください。**
- ・ **新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールおよび運用を行ってください。**接触通知があった場合は、必ず事前に実行委員会に連絡してください。
- ・ 各大学の行動指針に必ず従ってください。

○大会参加中

- ・ **体温が 37.5℃以上の選手の本大会会場への入場を認めません。**
- ・ 競技中以外は、マスク等で口元を覆い、飛沫拡散防止に努めてください。
- ・ 競技前後および、観戦中も感染拡大防止およびソーシャルディスタンスの確保に配慮してください。

○大会参加後

- ・ 本大会後 2 週間以内に新型コロナウイルスへの感染が発覚した場合は、速やかに本大会主催者まで連絡してください。

3.17 地図販売

12:50 以降、会場受付にて地図販売を行います。

地図販売の申し込みは、Japan-O-entrY(<https://japan-o-entry.com/event/view/591>)にて行っております。

申込締切日は、12 月 2 日(水)となっておりますのでお早めにお申し込みください。

また、各大学のチームオフィシャルへの全コントロール図配布も行います。

競技終了後、オフィシャル ID カードを持って受付までおこしください。

3.18 その他の注意事項

▼各種通信機器の使用に関する注意

- ・ 競技の公平性担保のため、下記時間/場所において携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等各種通信機器の使用を禁止します。
 - ・ **会場** (10:30-11:50 のみ使用禁止)
 - ・ 選手権の部予選/一般の部スタート地区およびスタートまでの誘導区間
 - ・ 選手権の部決勝スタート待機所およびスタート地区
- ・ 通信機器を使用した場合、理由の如何により大学単位で失格とする場合があります。やむを得ず通信機器を使用する場合は、大会本部にて使用の許可を必ず得てください。
- ・ 上記の理由により、**本要項は必要箇所を事前に印刷することを推奨します。**

▼GPS 機器の使用に関する注意

- ・ GPS による位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器について、**競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止**します。

▼撮影・広報に関する注意

- ・ 大会に出場する選手の情報については、大会要項への掲載、会場内での成績表配布や場内アナウンス、加盟団体や関係機関、マスメディア等の報道機関への情報提供、送付(ホームページ掲載を含む)、本連盟の公式 Web サイト、Facebook 等の SNS への画像や映像の掲載を行うことがあります。
- ・ また、本大会で実行委員会が撮影した全ての写真・映像は、大会報告書およびオリエンテーリングの普及・広報活動(新聞、雑誌、広報誌、Web サイト、チラシ等)のために利用させていた

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

だくことがあります。

- ・登録選手は、日本学生オリエンテーリング連盟が主催する試合、大会において、選手の肖像、映像、氏名等(以下「選手の肖像等」という)が報道、放送されること及び当該報道、放送に関する選手の肖像等に関する使用の許諾を与えるものとします。

▼その他の注意

- ・トレイン内(会場含む)には要項およびテクニカルミーティング資料を除く、立入禁止区域内の地図およびそれに類するもの(O-Map、行政図、写真、イラストなど)の持込を禁止します。持ち込んだことが発覚した場合は、学校単位での失格などの措置を取る場合があります。
- ・トレイン内での火気の使用、飲酒は禁止します。
- ・会場内では危険防止のため、競技時以外に走らないようにしてください。**特に、応援時に会場内を走り回ることを固く禁止します。**悪質な場合、何らかのペナルティを課すことがあります。
- ・すべての競技者、チームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が発生した場合には、最寄りの役員、もしくは大会本部に連絡してください。
- ・自分で出したゴミは必ずお持ち帰りください。
- ・参加者が自分自身あるいは第三者へ与えた損傷、損害、損失について、主催、主管はその責任を負いません。
- ・貴重品や車等の管理は各自でお願いします。紛失、盗難、破損に対し主催、主管は一切責任を負いません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

4 会場へのアクセス

4.1 会場所在地

大会会場：那須野が原公園 郷土の広場（栃木県那須塩原市千本松）

駐車場：那須野が原公園 正面駐車場

4.2 アクセスマップ

<会場案内図>



(OpenStreetMap を使用)

※会場は正面駐車場の北東側すぐの場所に位置します。

4.3 車・チャーターバスでの来場

必ず4.2項アクセスマップの指定経路に従って来場し、正面駐車場のみを使用してください。
他の経路・駐車場の使用は固く禁止いたします。

4.4 公共交通機関での来場

必ず4.2項アクセスマップの指定経路に従ってJR西那須野駅からバス、タクシーまたは徒歩で来場してください。

他の経路の使用は固く禁止いたします。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

▼バスの場合

JR西那須野駅より、塩原温泉行(JRバス関東)に乗車、千本松にて下車し、徒歩20分です。千本松からは上記経路を参照ください。

参考：JRバス関東 時刻表

http://www.jrbuskanto.co.jp/bus_etc/cntimep01.cfm?pa=1&pb=1&pc=j0360111&pd=0&st=1

▼タクシーの場合

事前に予約することを推奨いたします。

JR西那須野駅から会場までの所要時間は約15分です。

▼徒歩の場合

JR 西那須野駅から会場までの距離は約 7.5km、所要時間は約 1 時間 30 分です。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

5.1 競技形式

スプリント競技

5.2 地図仕様

縮尺／等高線間隔	<選手権の部・一般の部 共通> 1:4000/2m
走行可能度	4段階表記
地図サイズ	A4
地図表記	ISSprOM2019準拠
耐水性	透明ビニール袋封入済み
コントロール 位置説明	ISCD2018準拠
特殊記号	人工特徴物(遊具・目 立つポール・配電用 機器・水道設備など) ✕

5.3 コントロール位置説明表

コントロール位置説明表は地図に印刷されています。また、選手権の部決勝及び一般の部ではスタート2分前枠にて配布します。

選手権の部予選はコントロール位置説明表の配布は行いません。

※寸法：60mm x 180mm以内

5.4 コース概要・競技時間

スプリント競技				
コース設定者：上島 浩平				
選手権の部（予選） 競技時間：30分				
	クラス	距離 [km]	登距離 [m]	優勝 設定 [分]
	MEQ1-3	3.1~3.2	64~70	14
	WEQ1-2	2.5	54	14
選手権の部（決勝） 競技時間：30分				
	MEF	3.4	44	14
	WEF	2.8	32	14
一般の部 競技時間：40分				
	MUA	2.9	62	14
	WUA	2.5	54	14

- ・選手権の部予選は男子3ヒート、女子2ヒートにて実施します。
- ・距離はスタートから全てのコントロールを経由したフィニッシュまでの実走距離、登距離は最速と予想されるルートでの値です。

- ・競技時間を越えた選手は失格となります。その場合は、**競技中でも**速やかにフィニッシュに向かってください。
- ・選手権の部決勝に進出するのは男子60名(各ヒート上位20名)、女子40名(各ヒート上位20名)です。スタートリストは公式掲示板及び大会公式webサイトに掲示いたします。
- ・ただし、各ヒートにおいて同着20位の選手がいる場合は、該当の選手は全員選手権の部決勝に進出とします。
- ・B決勝は実施いたしません。
- ・選手権の部決勝のスタート間隔は1分です。

5.5 テレインの概要

テレインは那須連山に連なる広大な那須野が原の一角に位置する那須野が原公園です。園内の大部分は、芝生エリアと林エリアによって占められます。芝生エリアはおおむね走行可能度が高いですが、林エリアは走行可能度の低い箇所が存在します。予選決勝ともに、公園特有の大きな人口特徴物や入り組んだ池を使用したテクニカルなエリアをコースの一部に使用します。

5.6 公式掲示板

- ・選手権の部予選・一般の部スタート地区、選手権の部決勝スタート待機所および会場内に公式掲示板を設置します。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、公式掲示板の内容は**事前に大会公式Webサイトに掲載**します。
- ・要項3発行後の変更点や連絡など、参加者に対する公式な情報はすべてこの掲示板を通じて告知します。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

5.7 テクニカルミーティング

テクニカルミーティングは実施しません。代替資料を 11 月 30 日(月)中に大会公式 Web サイトに掲載します。資料公開後、12 月 2 日(水)23:59 までを質問受付期間とします。質問は役員のメールアドレス

(ics2020orienteering@gmail.com) に送信してください。詳細は資料に記載します。

回答は 12 月 4 日(金)中に Web 掲載し、大会当日に公式掲示板にも掲載します。

5.8 テレイン・コースの注意事項

- ・テレイン内には立入禁止区域が存在します。立ち入った場合には失格となります。また、ISSprOM2019 708 立入禁止区域の境界線で表記された箇所には、現地に青黄色テープを張ります。また、「708立入禁止区域の境界線」を通過禁止の記号として使用しています。

スプリント通過禁止表記一覧	
	201 通行不能がけ
	301 渡れない水域
	410 通行不能な植生
	515 通行不能の壁
	518 通過不能の柵・手すり
	520 立入禁止区域
	521 建物
	708 立入禁止の境界
	※一部709 立ち入り禁止区域を組み合わせています

- ・視認性向上のため地図上に「708立入禁止区域の境界線」の表記なく、テレイン内に青黄色テープを張ったエリアが存在します。安全のため避けて走行するようにしてください。
- ・選手権の部予選/一般の部において、一部エリアのコントロール数が多くなっています。辿り間違いや異なるコントロールへのミスパンチに注意してください。
- ・選手権の部予選MEQクラスの一部のコースにおいて、ループ区間が存在します。

5.9 服装および所持品

- ・公序良俗に反する服装での出走を禁止します。
- ・一部森林部分を走行します。
- ・出走にはSIカードおよびナンバーカードの着用が必要です。

5.10 ナンバーカード

- ・選手権の部予選及び一般の部のナンバーカードは大会受付で配布します。
- ・選手権の部決勝のナンバーカードは決勝進出者集合場所で配布します。
- ・ナンバーカードは選手1人につき1枚を、胸の見やすい位置に水平に付けてください。
- ・ナンバーカードは安全ピンで四隅を固定してください。安全ピンは各自で準備してください。

5.11 パンチングシステム

全てのクラスにおいてSPORTident社の電子パンチングシステムのタッチフリー対応のSIカード(SIAC)を使用します。SIカード使用上の注意事項を以下に記します。

▽SIシステム概要

- ・選手個人が持つSIカードを各コントロールに設置してあるSIステーションに近づけることで、SIカードにデータが記録されコントロール通過が成立します。
- ・タッチフリーでは、静的にはSIステーションの50cm以内にSIカードを近づけることでパンチが可能です。走行時にはパンチ可能な距離が短くなります。パンチが完了した際には、SIカードから光と音が約3秒間発せられるので必ず確認してください。タッチフリーでのパンチの場合は、SIステーションからの光や音は発生しません。複数人が同時にパンチしたときは、音が聞こえても、他の選手のパンチの音の可能性もあります。自身のSIの音が光を確認してください。
- ・スタート地区内のウォーミングアップエリアにテストステーションが設置されています。SIカードの練習にご使用ください。

▽パンチが確認できなかった場合

- ・SIカードをSIステーションに近づけたときに、SIカードから音も光も発生していなかつ

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

たときは、SIカードをSIステーションに差しこんでパンチを行ってください。差し込みパンチでも反応しない場合は、コントロールに設置されているピンパンチを使用して地図のリザーブ欄にパンチをしてください。リザーブ欄がいっぱいになったときを除き、リザーブ欄以外にパンチがあっても通過とは認めません。

▽ミスパンチについて

- ・途中で誤ったコントロールのパンチが記録されていても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。従って、誤ったコントロールでパンチした場合でも、そのまま正しいコントロールに行ってもパンチすれば問題ありません。

▽スタート

- ・スタート枠手前のクリアステーションにSIカードを差し込み、SIカード内のデータを消去してください。クリアステーションはSIカードを挿入して数秒待つと電子音と光を発します。
- 続いて、クリア確認のためのチェックを行ってください。チェックステーションは通常のパンチと同じ速度で反応します。SIカードはチェックによって、タッチフリーによるパンチが可能な状態になります。この状態では、カード先端の非常に小さな緑色のLEDが10秒に1回光ります。
- クリアおよびチェック、SIカード先端のLEDの点滅確認をすることは、競技者の責任です。上記動作を行っていないSIカードを使用した場合は、コースを正しく回ってきても失格になる可能性があります。

- ・選手権の部予選/一般の部

競技開始はスタート用のSIステーションを用いたパンチングスタートです。ステーションの穴にSIカードを差し込み、SIカードが反応した瞬間が正式なスタート時刻となります。パンチングスタートにおけるSIカードの反応の有無を確認するのは競技者の責任です。

- ・選手権の部決勝

スタート時間になったらパンチすることなくそのまま出走する、タイムスタートによるスター

ト方式です。スタートリストにて指定されたスタート時刻がそのままスタート開始時刻となります。

▽フィニッシュ

走り抜けフィニッシュです。フィニッシュラインを通過した際の時刻がフィニッシュ時刻となります。一度フィニッシュラインを通過すると、タッチフリーでのパンチが可能な状態が終了するので、競技途中にはフィニッシュに近づかないようご注意ください。

▽SIカード関連の注意事項

- ・SIカードから光や音が発せられている間は、新たにパンチをすることが出来ません。
- ・**SIカードとGPS内蔵の時計を同じ腕に着用しないでください。GPSアンテナによりSIカードの感度が低下する可能性があります。**
- ・SIカードへの加工、書き込み等は認められません。脱落防止の目的でゴム紐を付けることは許可します。競技中はSIカードのベルトを指にはめ、ベルトをしっかりと締めて、落とさないようご注意ください。
- ・SIカードを破損または紛失した場合は実費（9,500円）を頂きます。SIカードを破損・紛失した方は、必ずフィニッシュの役員に申告をしてください。
- ・以下の場合には失格となります。
 1. パンチが速過ぎて信号を確認できず、SIカードに電子記録がない場合。
 2. SIステーションが故障している場合はバックアップのピンパンチをしなければならないが、この記録がない場合。
 3. 記録できるコントロール数の上限（128）を超えてパンチを行った場合。
 4. SIカードを破損または紛失して、フィニッシュ後に記録が読み取れない場合。

▽その他

- ・同じ番号のコントロールで続けて2回以上パンチした場合は、最初のパンチのみが記録されます。
- ・途中で誤ったコントロールのパンチが記録されていても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。
- ・SIカードへの電子的な加工は認めません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

5.12 給水所・救護所

会場内に救護所を設けます。スタート地区、スタート待機所およびテレイン内には給水所・救護所を設けません。

5.13 調査依頼、提訴

▼調査依頼

各校は、インカレ実施規則に対する違反について調査依頼を行うことができます。大会受付に用意する所定の文書にて申請してください。調査依頼の受付は、選手権の部のみ大会本部にて行います。

選手権の部予選調査依頼の受付期限は**12:30(フィニッシュ閉鎖の 20 分後)**、決勝の部調査依頼の受付期限は**16:20(フィニッシュ閉鎖の 20 分後)**とします。大変短くなっていますので、ご注意ください。

調査依頼に対する回答は公式掲示板に掲示します。

調査依頼の回答結果によって選手権の部決勝進出が左右される場合、回答を待たずに決勝スタート待機所への入場を許可することがあります。

▼提訴

調査依頼に対する回答に疑義がある場合は裁定委員会に対して提訴を行うことができます。大会受付に用意する所定の様式で申請してください。提訴の受付は、大会本部で行います。

提訴の受付期限は、**調査依頼の回答が通知されてから 15 分後**です。

提訴は裁定委員会によって裁定が下されます。提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものとなります。関係者に通知される他、大会報告書にて報告されます。

なお、裁定委員は以下の3名です。

- ・佐藤大樹(東京工業大学卒)
- ・増田七彩(東京大学卒)
- ・南河駿(名古屋大学卒)

5.14 ドーピング検査

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
- ・本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従ってください。
- ・ドーピング検査の対象となった本大会参加者は、役員の指示に従ってください。なお、

身分証明のため、大会参加者は学生証・免許証等の写真により本人確認が可能なものを持参してください。

- ・本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意してください。
- ・血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意してください。
- ・日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAのウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認してください。

5.15 昨年度入賞者のヒート分け

本大会ではシード選手は設けません。ただし、昨年度入賞者の以下の選手は選手権の部予選におけるヒートが考慮されます。男子は3名それぞれ別ヒート、女子は1名と2名にヒートが分かります。

▼ME(3名)

- | | |
|-------|-----------|
| 小牧 弘季 | (筑波大学 4) |
| 大石 洋輔 | (早稲田大学 4) |
| 住吉 将英 | (名古屋大学 4) |

▼WE(3名)

- | | |
|-------|-----------|
| 伊部 琴美 | (名古屋大学 4) |
| 香取 瑞穂 | (立教大学 4) |
| 世良 史佳 | (立教大学 4) |

5.16 使用テーブル一覧

	競技中におけるすべての誘導
	立入禁止区域の外郭・危険区域

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

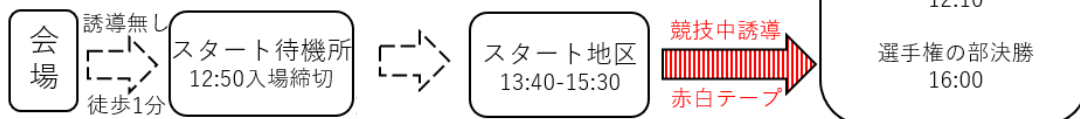
6 スプリント競技詳細

6.1 当日の流れ

<選手権の部予選/一般の部>



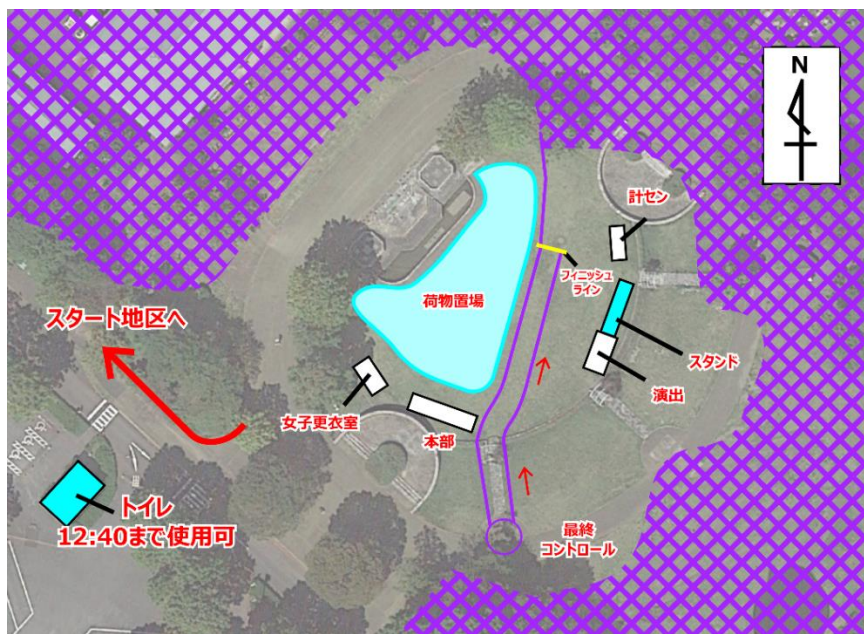
<選手権の部決勝>



6.2 会場

- ・会場は那須野が原公園、郷土の広場です。
- ・会場への入場の際、全ての参加者およびチームオフィシャルはゲートで検温を受けてください。
- ・会場内では、競技中以外はマスクを着用してください。
- ・会場内にウォーミングアップエリアは設けません。スタート地区までの移動及びスタート地区にてウォーミングアップを済ませるようにしてください。
- ・参加者の密集を防止するため、公式掲示板は大会公式 Web サイトで公開します。また、選手権決勝進出者については web 上にて発表した後、会場内にも掲示いたします。
- ・女子更衣室内での密集を防ぐため、一度に入室できる人数を制限します。役員の指示に従ってください。スペースが限られているため、事前に着替えていただくことを推奨します。
- ・トイレの使用後の手洗いを徹底してください。
- ・時間帯によってトイレの利用制限がございます。詳しくは 6.3 トイレの利用制限をご覧ください。

▼予選会場レイアウト(12:50 まで)



ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

6.3 トイレの利用制限

本大会では、時刻によって利用できるトイレを制限します。

- ・ 12:50 までは正面駐車場トイレ(上記会場レイアウト参照)をご利用ください。
- ・ 12:50 以降は**正面駐車場トイレの利用を禁じます。**

(スタート待機所利用者(選手権の部決勝出場者・オフィシャル)専用となります)

- ・スタート待機所利用者はスタート待機所のトイレ輸送を、それ以外の方についてはテレイン内のトイレをご利用ください。テレイン内のトイレの詳しい場所については公式掲示板で掲載いたします。

6.4 選手権の部予選／一般の部 スタート

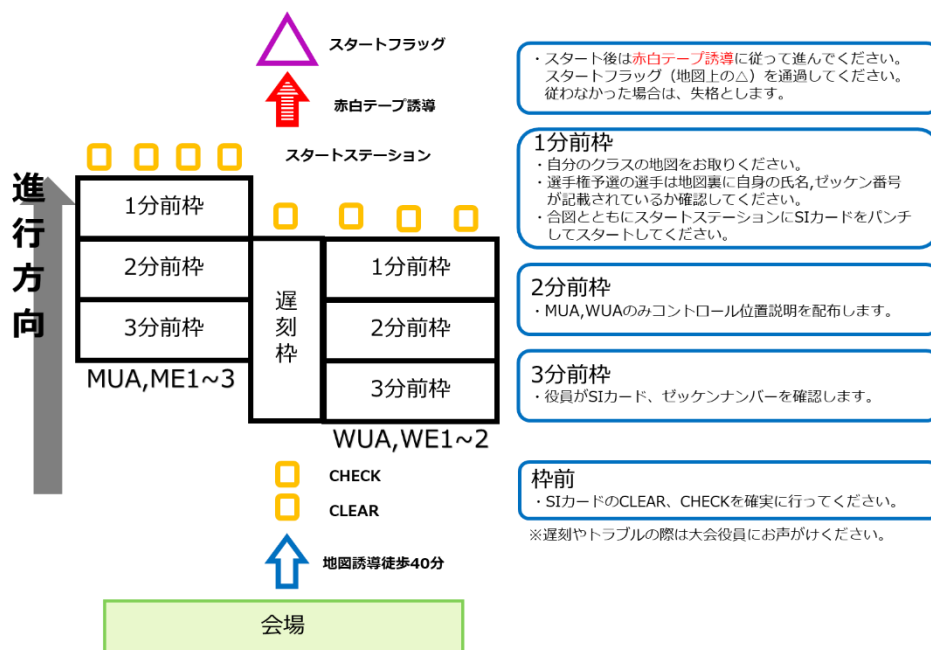
■スタート地区までの移動

- ・会場から地図誘導で徒歩 40 分程度です。
- ・テープ誘導はありません。配布物の誘導地図に従いスタート地区へお越しください。
ルート上の分岐地点には青色テープが設置されています。
- ・**スタート地区までの移動時およびウォーミングアップエリア利用時はマスクを着用してください。**
ただし、競技中の着用は義務ではありません。マスク用のゴミ袋に使用済みのマスクを捨て出走してください。
- ・スタート地区周辺への車での輸送は原則禁止とします。

■スタート地区・ウォーミングアップエリア

- ・公式掲示板を設置します。出走前に必ず確認してください。
- ・トイレの利用ができます。
- ・スタート地区内にウォーミングアップエリアを設けます。
- ・ウォーミングアップエリア内にテストステーションが設置されています。タッチフリー式 SI カード（SIAC）の練習にご使用ください。
- ・スタート地区では、GPS 機能付き時計を除く一切の通信機器の使用を禁じます。また、GPS による位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器についても、**競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止**します。
- ・スタート地区から会場への荷物輸送は、原則としてチームオフィシャルが行ってください。チームオフィシャルがいない学校に対しては、スタート地区から会場まで主管者による荷物輸送を行います。利用する場合は、スタート地区に用意するネームタグを荷物に付け、所定の場所に置いてください。

■スタート



- ・3分前枠に入る前に、役員の指示に従いSIカードのクリア・チェックを行ってください。
- ・スタート地区での案内は原則として自動音声対応としています。ただし、SIカードの不調、遅刻等のトラブルの際は、直接大会役員にお声がけください。
- ・ナンバーカードおよびSIカードのない選手は出走できません。
- ・一般の部のみ2分前枠でコントロール位置説明の配布を行います。
選手権の部予選ではコントロール位置説明の配布は行いません。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

- ・選手権の部予選の選手は1分前枠で地図を取る際、地図裏に自身の氏名・ゼッケン番号が記載されているか必ず確認してください。
- ・選手権の部予選／一般の部では、1分間隔で**パンチングスタート**します。
スタートの合図と同時にレーンの目前にあるスタートステーションにSIカードを**パンチング（差し込み）**しスタートしてください。差し込み前に地図を見ることを禁止します。
- ・スタートチャイマーは**4秒前からブザーが鳴ります**。フライングにご注意ください。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でSIカードをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となります。
- ・予選のスタート閉鎖時刻は、12:10です。

6.5 選手権の部 決勝スタート

決勝進出者のみ

- 決勝スタートリスト公開 【12:30頃】（予定）
- 決勝スタート待機所入場締切 【12:50】
- 女子決勝スタート時刻 【13:40～】
- 男子決勝スタート時刻 【14:30～】

■スタート待機所・ウォーミングアップエリア

- ・決勝スタートリスト公開 **12:30以降**、入場締切 **12:50** までに必ず待機所へ入場してください。
- ・スタート待機所は正面駐車場の一部を使用します。
- ・**屋外の待機スペースが狭いため、各自の車内で待機することを推奨しますが、車内を含めた待機所内での通信機器・旧地図の閲覧は禁止となりますのでご注意ください。**
- ・スタート待機所へは決勝出場者およびチームオフィシャルのみが入ることができます。ただし、スタート待機所入場締切前に限り対象者以外が入場することは妨げません。
- ・決勝出場者およびチームオフィシャルは、待機所受付にて配布物をお受け取りください。
- ・スタート地区へは決勝進出者集合場所にて配布する地図に従い移動してください。
- ・公式掲示板を設置します。出走前に必ず確認してください。
- ・ウォームアップエリアを設けていますが、狭いため走行時のすれ違いに十分注意してください。
- ・**スタート待機所内はウォームアップエリア利用時を含め、マスクを着用してください。**
ただし、競技中の着用は義務ではありません。マスク用のゴミ袋に使用済みのマスクを捨て出走してください。
- ・スタート待機所内にトイレはございません。運営者によるトイレ(男2・女2)への輸送(片道約30秒)を行います。トイレ輸送便停留所は待機所受付で配布する地図を参照ください。輸送間隔は不定期になり、混雑が予想されますので時間にゆとりを持つよう注意してください。また、輸送時は各自持参するウィンドブレーカー等で目隠しをするようお願いいたします。
- ・飲食が可能です。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、スタート待機所・地区に給水を設けません。
- ・待機所内およびスタート地区では、GPS機能付き時計を除く一切の通信機器の使用を禁じます。また、GPSによる位置情報ログの取得が可能な時計等の通信機器についても、**競技補助目的・地図閲覧目的での使用を禁止**します。
- ・スタート待機所から会場への荷物輸送は、原則チームオフィシャルが行ってください。ただし、チームオフィシャルが不在の場合は、主管による荷物輸送を行います。利用する場合はネームタグを配布しますので、荷物に付けてください。ただし、輸送間隔は不定期であり、荷物の到着が遅くなる可能性があります。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

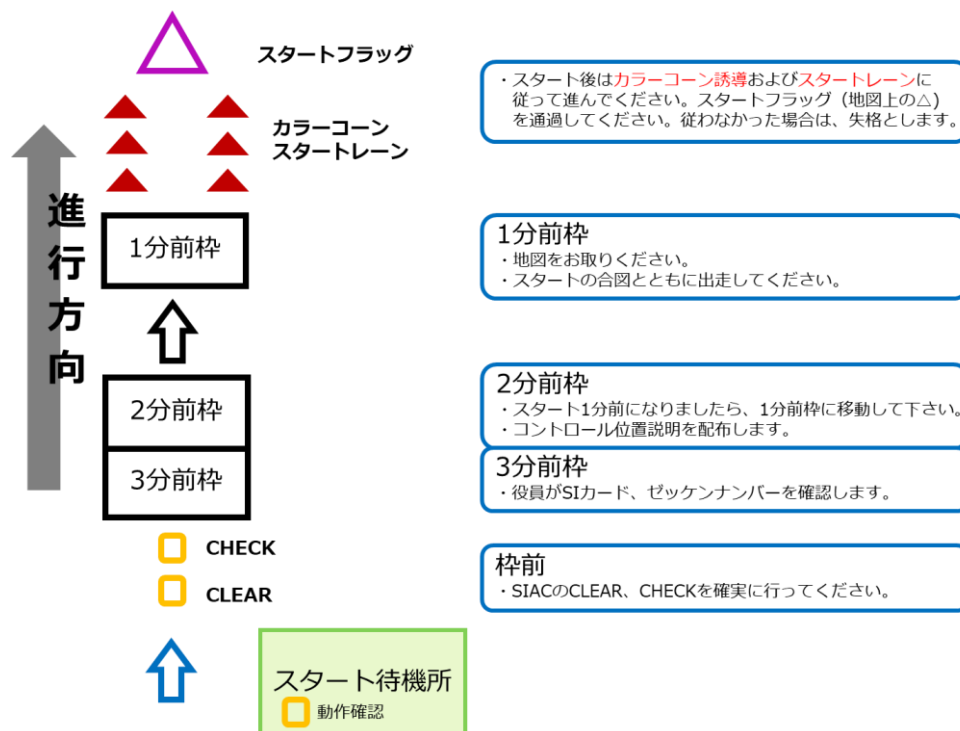
参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

■スタート



- ・3分前枠に入る前に、役員の指示に従いSIカードのクリア・チェックを行ってください。
- ・スタート地区での案内は原則として自動音声対応としています。ただし、SIカードの不調等のトラブルの際は、直接大会役員にお声がけください。
- ・ナンバーカードおよびSIカードのない選手は出走できません。
- ・選手権の部決勝は、1分間隔で**タイムスタート**します。
- ・予選のスタート方式とは異なりますので注意してください。パンチングの必要はありません。
- ・スタートチャイマーは4秒前からブザーが鳴ります。スタートの合図と同時にスタートください。フライングにご注意ください。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でSIカードをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となります。
- ・決勝のスタート閉鎖時刻は、15:30です。

6.6 遅刻スタート

- ・スタートに遅刻した選手はスタート地区の役員に申し出てください。その後、役員の指示に従ってください。
- ・計時はスタートリストに記載されている時刻から開始されます。
- ・他の選手の都合により、すぐにスタートできない場合があります。
- ・10分以上の遅刻は参考記録となります。

6.7 フィニッシュ

- ・最終コントロールからは**赤白テープ誘導**に従って進んでください。これに従わなかった場合は失格とします。
- ・一度スタートした選手は必ずフィニッシュを通過するか、何らかの方法でSIカードをフィニッシュに提出してください。提出がない場合は未帰還者として検索の対象となります。
- ・**ループアンテナ（フィニッシュ計時用の機材）を用いた、走り抜けフィニッシュとします。**
- ・SIカードは役員の指示に従って提出してください。記録の読み取りを行った後、レンタルSIカードは返却してください。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

- ・選手権の部予選では地図回収を行います。所属している団体または学連ごとに指定された箱に地図を入れてください。
- ・選手権の部決勝ではフィニッシュ後にインタビューを行う場合があります。感染症拡大防止のため、フィニッシュでマスクを配布しますので、必ず着用してください。
- ・フィニッシュ閉鎖時刻は選手権の部予選が12:10、選手権の部決勝が16:00です。
- ・フィニッシュでは一切の調査依頼を受け付けません。

6.8 表彰式・閉会式

- ・一般の部は表彰対象者確定次第、選手権の部は15:50頃から順次行います。表彰対象者は放送で招集するので、指示された場所に速やかに集合してください。
- ・選手権の部は、決勝の男女上位1名を2020年度スプリント競技選手権者として、決勝の男女上位6名を入賞者として表彰します。また、選手権の部決勝の日本学連初年度登録者の男女上位1名を特別表彰します。
- ・一般の部は各クラス上位3名を表彰します。また、一般の部の日本学連初年度登録者の男女上位1名を特別表彰します。
- ・選手権の部の表彰式終了後、閉会式を行います。
- ・写真撮影およびライブ配信を行うため、表彰対象者は下記2点を遵守いただくようお願いいたします。

1.広告の禁止(大会宣伝看板等)

2.所属大学またはクラブの公式ウェア・ジャケットの着用(可能な限り)

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

チームオフィシャルは、大会受付で配布するIDカードを必ず身につけてください。

加盟校名	氏名
東北大学	長岡 凌生
	青芳 龍
	谷口 恵佑
	青代 香菜子
宮城学院女子大学	古屋 洸
	一宮 菜津美
新潟大学	外石 裕太郎
	山下 政泰
	青田 正樹
お茶の水女子大学	高見澤 翔一
慶應義塾大学	清水 俊祐
	桃井 陽佑
千葉大学	岡田 翔太
	中野 航友
	中浴 広樹
	香取 菜穂
筑波大学	直井 萌香
	山岸 夏希
	小竹 佳穂
	増澤 すず
筑波大学大学院	楠 健志
東京大学	大橋 陽樹
	小林 美咲
東京農工大学	石坪 夕奈
	小野 裕登
東京理科大学	森田 夏水

加盟校名	氏名
法政大学	佐藤 遼平
横浜国立大学	稲森 剛
	石井 悠太
	村田 茉奈美
立教大学	三上 拓真
早稲田大学	長谷川 望
	三好 将史
実践女子大学	村井 智也
	比企野 純一
一橋大学	横堀 聖人
相模女子大学	杉山 真理
東京工業大学	若松 甫
	田口 滉一
	大倉 峻吾
日本女子大学	久野 公愛
	高橋 利奈
茨城大学	奥尾 優理
	七五三 碧
横浜市立大学	濱野 奎
	平松 夕衣
	篠塚 みずき
関東学院大学	吉澤 雄大
十文字学園女子大学	宮本 樹
京都大学	岩井 龍之介
	森河 俊成

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

8.1 選手権の部

ME1(1/2) 参加人数69		
スタート時刻	氏名	学校・学年
10:30	清水嘉人	北海道大学3
10:31	坂本慧	新潟大学3
10:32	大石征裕	東京農工大学大学院3
10:33	波根竣介	東北大学2
10:34	今翔太	新潟大学2
10:35	石渡望	東北大学4
10:36	若林海人	新潟大学2
10:37	小林俊介	東北大学3
10:38	三浦開登	東京工業大学4
10:39	松原佑季	一橋大学2
10:40	相馬哲兵	東京大学2
10:41	嶋崎彰人	関東学院大学2
10:42	浅井寛之	東京大学4
10:43	市川竣介	筑波大学1
10:44	仲長航	一橋大学2
10:45	菅野正太	福島大学4
10:46	佐野良我	慶應義塾大学2
10:47	塚田翔太	東京工業大学2
10:48	君島健太	東北大学2
10:49	森山凌佑	千葉大学4
10:50	原柊斗	岩手大学3
10:51	山口龍之介	千葉大学3
10:52	木本琢登	早稲田大学3
10:53	野中亮吾	新潟大学2
10:54	櫻井一樹	東京工業大学4
10:55	西原大貴	東北大学2
10:56	立松空	早稲田大学2
10:57	佐藤宏紀	千葉大学1
10:58	森清星也	早稲田大学1
10:59	渡邊大地	千葉大学3
11:00	嶋崎涉	東北大学4
11:01	佐藤佑亮	東京大学2
11:02	加藤千晴	東北大学3
11:03	大場隆太郎	東京工業大学3
11:04	鳥野祐作	東京大学2
11:05	大石洋輔	早稲田大学4
11:06	丸山幸太	新潟大学3
11:07	佐藤裕太	千葉大学1
11:08	川崎拓巳	東京理科大学2
11:09	水流尚樹	千葉大学4
11:10	村田千真	筑波大学3
11:11	矢田祐喜	静岡大学3
11:12	寺田直加	東北大学3
11:13	森田邦夫	静岡大学3
11:14	鈴木遼賀	岩手大学2
11:15	衣笠匠斗	東京大学2
11:16	小林伸次	東北大学3
11:17	市川礼偉	横浜市立大学3
11:18	渡邊真太郎	慶應義塾大学2
11:19	伊藤元春	東京大学3

ME1エントリーリストは右上に続く

ME1(2/2) 左下の続き		
スタート時刻	氏名	学校・学年
11:20	倉田瞭一	東京工業大学3
11:21	本多一成	千葉大学4
11:22	松井泰道	早稲田大学3
11:23	佐藤隆	東京工業大学2
11:24	中田成央	東京農工大学3
11:25	菅波崇志	筑波大学2
11:26	木村宇快	東京工業大学2
11:27	大六野祐斗	千葉大学1
11:28	齋藤俊輔	岩手大学2
11:29	菅沼友仁	茨城大学4
11:30	青木航流	東京工業大学3
11:31	今野陽一	東北大学3
11:32	田中琉偉	法政大学3
11:33	平岩伊武季	筑波大学2
11:34	豊田俊哉	神戸大学3
11:35	高橋直道	東北大学3
11:36	根本啓介	筑波大学2
11:37	藤原悠平	東京大学3
11:38	名雪青葉	筑波大学3

ME2(1/2) 参加人数69		
スタート時刻	氏名	学校・学年
10:30	小林亮太	岩手県立大学4
10:31	野上世蓮	横浜国立大学2
10:32	上保望	早稲田大学3
10:33	栗山朋大	横浜国立大学2
10:34	宮嶋哲矢	千葉大学4
10:35	高野陽平	神戸大学4
10:36	伊藤隼太郎	東京農工大学3
10:37	佐藤珠有	茨城大学2
10:38	伊藤高真	東京大学3
10:39	大橋裕太	新潟大学1
10:40	中村諒	早稲田大学3
10:41	岩佐一大	千葉大学4
10:42	中嶋律起	横浜国立大学4
10:43	本庄祐一	東京大学2
10:44	高松暉	筑波大学2
10:45	押切嶺於	東京農工大学4
10:46	村岡泰輝	横浜国立大学1
10:47	高橋洸太	東京工業大学4
10:48	安齋音哉	東京農工大学3
10:49	磯邊岳晃	千葉大学4
10:50	桑山陽次	東北大学2
10:51	和佐田祥太郎	京都大学3
10:52	小柳俊介	新潟大学1
10:53	野沢星雅	茨城大学4
10:54	網優希	早稲田大学2
10:55	金子隼人	東京大学1

ME2エントリーリストは次ページに続く

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

ME2(2/2) 前ページの続き		
スタート時刻	氏名	学校・学年
10:56	和田佳丈	静岡大学3
10:57	大久保社途	東京大学2
10:58	入江龍成	早稲田大学2
10:59	石渡雄也	関東学院大学3
11:00	小森直人	芝浦工業大学2
11:01	小牧弘季	筑波大学4
11:02	小林尚暉	東京大学3
11:03	粟生啓介	名古屋大学3
11:04	石川諒	東北大学2
11:05	安部智晴	名古屋大学4
11:06	楊泓志	横浜国立大学2
11:07	鈴木海斗	名古屋大学2
11:08	時任晴央	東北大学2
11:09	小寺義伸	東京工業大学4
11:10	津田卓磨	横浜国立大学4
11:11	高橋英人	一橋大学4
11:12	中村僚宏	東京大学4
11:13	櫻木嵩斗	東京工業大学4
11:14	井上諒	東北大学2
11:15	岩淵悠太	新潟大学3
11:16	片岡佑太	大阪大学4
11:17	大槻賢二郎	東北大学3
11:18	豊田健登	茨城大学4
11:19	山田基生	東北大学4
11:20	金城和志	大阪大学4
11:21	藺部駿太	東北大学4
11:22	到津春樹	茨城大学4
11:23	唐木朋也	東北大学4
11:24	松嶋亮弥	東京大学3
11:25	羽田拓真	横浜国立大学2
11:26	岡田航太郎	東京理科大学2
11:27	阿保匠真	東北大学2
11:28	山田大雅	中央大学4
11:29	山田峻大	東北大学3
11:30	長谷川拓海	新潟大学4
11:31	大西諒哉	千葉大学2
11:32	平岡丈	京都大学2
11:33	真家遼介	千葉大学1
11:34	永山遼真	筑波大学2
11:35	豊澤義文	東京工業大学4
11:36	森下晃成	静岡大学3
11:37	碓井玲	横浜国立大学2
11:38	角野裕之	東京工業大学3

ME3(1/3) 参加人数69		
スタート時刻	氏名	学校・学年
10:30	得能渉	千葉大学4
10:31	柿沼晴喜	筑波大学4
10:32	鈴木皓紀	新潟大学4
10:33	宮岡竜也	早稲田大学2
10:34	村井智哉	東北大学2
10:35	小林直登	名古屋大学2
10:36	伊藤拓馬	東北大学4
10:37	今井悠	慶應義塾大学1
10:38	小俣敦宏	名古屋工業大学3
ME3エントリーリストは右上に続く		

ME3(2/3) 左下の続き		
スタート時刻	氏名	学校・学年
10:39	山崎嘉津人	東京工業大学2
10:40	杉浦青空	新潟大学2
10:41	金子哲士	東北大学4
10:42	谷野文史	筑波大学4
10:43	笠井虹汰	千葉大学3
10:44	竹下晴山	茨城大学3
10:45	森恒大	筑波大学3
10:46	保効優	東北大学4
10:47	吉田玄	千葉大学2
10:48	鈴木京佑	横浜市立大学4
10:49	宮川靖弥	東京工業大学3
10:50	池田匠	早稲田大学3
10:51	西田直人	茨城大学3
10:52	伊地知淳	千葉大学3
10:53	堀内颯介	茨城大学2
10:54	櫻井千尋	名古屋大学2
10:55	末満寛太	北海道大学2
10:56	龍堀巧	東北大学4
10:57	石田健太郎	早稲田大学4
10:58	藤井悠輝	名古屋大学3
10:59	村山泰眸	千葉大学4
11:00	池田直樹	東京大学4
11:01	二俣真	京都大学2
11:02	森川輔	千葉大学2
11:03	菅野裕貴	横浜市立大学4
11:04	有澤達哉	東京大学3
11:05	住吉将英	名古屋大学4
11:06	中野佑太郎	新潟大学2
11:07	中林優樹	慶應義塾大学2
11:08	滝沢壮太	新潟大学4
11:09	太田知也	京都大学4
11:10	江野弘太郎	慶應義塾大学4
11:11	藤澤達也	東京大学2
11:12	稲毛隆太	東北大学2
11:13	柴山大侑	新潟大学4
11:14	倉上英	慶應義塾大学1
11:15	祖父江有祐	筑波大学2
11:16	関根優樹	神戸大学4
11:17	古関駿介	東北大学3
11:18	根岸龍宏	筑波大学2
11:19	田淵ヒカル	慶應義塾大学3
11:20	朝間玲羽	東京大学3
11:21	笹島建吾	茨城大学3
11:22	秋元郁	早稲田大学3
11:23	藤田翔伍	東京農工大学2
11:24	古池将樹	京都大学4
11:25	高橋忠大	東北大学1
11:26	渡邊寛希	筑波大学大学院4
11:27	荒川悠人	東京農工大学3
11:28	市川幸杜	早稲田大学2
11:29	小高敦志	岩手大学3
11:30	葛西裕樹	東北大学2
11:31	吉田新史	大阪大学4
11:32	瓜生侑	東京工業大学3
11:33	鈴木琢也	横浜国立大学3
11:34	板垣星哉	慶應義塾大学2
11:35	澤田直志	早稲田大学2
11:36	上田礼一	東京大学1
ME3エントリーリストは次ページに続く		

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

ME3(3/3) 前ページの続き		
スタート時刻	氏名	学校・学年
11:37	植西柳太	新潟大学2
11:38	用松知樹	慶應義塾大学2

WE1 参加人数39		
スタート時刻	氏名	学校・学年
10:30	宇佐美綾野	宮城学院女子大学2
10:31	里見穂	早稲田大学3
10:32	滝澤伊織	新潟大学3
10:33	菊池美結	岩手大学3
10:34	三浦快嶺	福島大学4
10:35	須本みずほ	椋山女学園大学3
10:36	吉田菜々子	東京理科大学1
10:37	菊地美里	東北大学2
10:38	佐藤珠穂	法政大学4
10:39	中野真優	椋山女学園大学4
10:40	松田千果	横浜市立大学4
10:41	水上玲奈	東北大学2
10:42	森下遥	千葉大学1
10:43	三上夏生	横浜国立大学2
10:44	伊部琴美	名古屋大学4
10:45	清野幸	横浜国立大学4
10:46	片岡茅悠	東京大学4
10:47	明田彩里	椋山女学園大学3
10:48	楊馨逸	早稲田大学4
10:49	佐藤加奈	立教大学3
10:50	阿部朱莉	東京理科大学3
10:51	菅原真優	日本女子大学4
10:52	佐久間若菜	筑波大学4
10:53	鈴木日菜	実践女子大学3
10:54	石黒麻柚菜	日本女子大学2
10:55	塚本理紗子	横浜国立大学2
10:56	中村莉子	宮城学院女子大学3
10:57	小林祐子	東北大学4
10:58	坂巻朱里	十文字学園女子大学2
10:59	田村一紗	横浜市立大学4
11:00	井村唯	新潟大学4
11:01	中村沙耶	椋山女学園大学4
11:02	河野珠里亜	新潟大学4
11:03	榎戸麻衣	日本女子大学2
11:04	池ヶ谷みのり	一橋大学3
11:05	猪股紗如	千葉大学2
11:06	中神智香	静岡大学3
11:07	泉夏帆	千葉大学1
11:08	中村咲野	立教大学3

WE2 参加人数38		
スタート時刻	氏名	学校・学年
10:30	矢倉美励	千葉大学2
10:31	佐藤成美	福島大学3
10:32	近藤花保	名古屋大学2
10:33	佐藤隆奈	筑波大学2
10:34	山根萌加	京都大学3
10:35	阿部悠	実践女子大学3
10:36	山崎璃果	椋山女学園大学3
10:37	大栗由希	茨城大学3
10:38	今井里奈	椋山女学園大学2
10:39	坂根歩実	実践女子大学2
10:40	八木橋まい	東北大学4
10:41	崎原美咲紀	千葉大学2
10:42	九津見梓紗	十文字学園女子大学2
10:43	稲邊穂乃果	東京農工大学4
10:44	白井千尋	東京工業大学3
10:45	砥石真奈	東京農工大学4
10:46	富永万由	早稲田大学4
10:47	杉浦野乃子	椋山女学園大学2
10:48	柴崎愛有	新潟大学1
10:49	小林璃衣紗	青山学院大学3
10:50	松本環	早稲田大学3
10:51	井上千帆里	相模女子大学4
10:52	西谷彩奈	筑波大学大学院4
10:53	藤井明日香	関東学院大学3
10:54	大石遥	新潟大学1
10:55	池田夏希	日本女子大学2
10:56	佐々木亜珠	宮城学院女子大学3
10:57	岩崎佑美	慶應義塾大学3
10:58	上島じゅ菜	お茶の水女子大学2
10:59	宮本和奏	筑波大学4
11:00	香取瑞穂	立教大学4
11:01	神戸麻衣	新潟大学4
11:02	秋山美怜	早稲田大学4
11:03	角谷侑香	京都女子大学4
11:04	長瀬麻里子	お茶の水女子大学2
11:05	世良史佳	立教大学4
11:06	藤中美波	日本女子大学2
11:07	吉永紗弥香	法政大学2

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

8.2 一般の部

MUA 参加人数41		
スタート時刻	氏名	学校・登録年度
10:30	川口綜一朗	法政大学1
10:31	加賀谷湧	東京大学1
10:32	公森達郎	一橋大学1
10:33	日高祐哉	東京大学1
10:34	千葉滉平	東北大学3
10:35	吉良優希	東京大学1
10:36	河野弘士	東京工業大学2
10:37	渡辺陽太	東京大学1
10:38	藤村晋也	新潟大学3
10:39	吉原慧	東京大学2
10:40	椿原暖人	名古屋大学2
10:41	松本明訓	東京大学4
10:42	竹花佳祐	東北大学3
10:43	宗安慧悟	東京大学2
10:44	大友秀太	東京工業大学2
10:45	日比浩喜	東京大学4
10:46	高柳知朗	筑波大学4
10:47	山口敦也	新潟大学2
10:48	竹市葵	群馬大学2
10:49	小川亮太郎	一橋大学1
10:50	村山蒼悟	岩手大学1
10:51	西平楽	東北大学4
10:52	岩崎隼也	岩手大学1
10:53	小丸幸佑	京都大学3
10:54	綾野拓全	東京大学1
10:55	中井健介	筑波大学1
10:56	山田凌平	岩手大学1
10:57	竹安宏曜	東京大学2
10:58	井上拓紀	一橋大学1
10:59	曲田貴大	新潟大学3
11:00	石井洋一郎	東京大学2
11:01	加賀萌起	一橋大学1
11:02	木村詠吉	東京工業大学2
11:03	藤澤廉	東北大学2
11:04	登内良輔	法政大学1
11:05	吹原泰弦	東京大学1
11:06	小林哲郎	東北大学3
11:07	大熊光汰	東京大学1
11:08	早坂鴻志	東北大学2
11:09	長瀬壮太	東京大学1
11:10	川西翔貴	東北大学2

WUA 参加人数16		
スタート時刻	氏名	学校・登録年度
10:30	田中恵子	相模女子大学2
10:31	初野春菜	実践女子大学2
10:32	金澤優衣	新潟大学2
10:33	齋藤遥	十文字学園女子大学1
10:34	山田光莉	新潟大学2
10:35	野中麻佑子	聖心女子大学4
10:36	福田有紗	国際基督教大学1
10:37	宗形和泉	岩手大学1
10:38	藤平歩	実践女子大学4
10:39	門松歩美	立教大学3
10:40	仲田有沙	実践女子大学2
10:41	酒井舞子	京都女子大学3
10:42	高倉玲衣	宮城学院女子大学3
10:43	杉山桃菜	十文字学園女子大学4
10:44	時森さみか	京都女子大学4
10:45	工藤藍花	十文字学園女子大学2

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

コード	学校名	加盟員数	ME	WE	MUA	WUA	出場計	欠場計
101	岩手大学	23	4	1	3	1	9	14
102	東北大学	72	30	4	7	0	41	31
103	北海道大学	35	2	0	0	0	2	33
142	宮城学院女子大学	9	0	3	0	1	4	5
144	岩手県立大学	10	1	0	0	0	1	9
145	福島大学	19	1	2	0	0	3	16
201	金沢大学	25	0	0	0	0	0	25
203	新潟大学	76	15	6	3	2	26	50
235	金沢工業大学	11	0	0	0	0	0	11
301	青山学院大学	1	0	1	0	0	1	0
302	お茶の水女子大学	2	0	2	0	0	2	0
303	慶應義塾大学	18	9	1	0	0	10	8
305	千葉大学	29	19	5	0	0	24	5
306	中央大学	1	1	0	0	0	1	0
307	筑波大学	30	14	3	2	0	19	11
309	東京大学	41	19	1	14	0	34	7
310	東京農工大学	19	6	2	0	0	8	11
311	東京理科大学	6	2	2	0	0	4	2
313	法政大学	6	1	2	2	0	5	1
315	横浜国立大学	20	9	3	0	0	12	8
316	立教大学	6	0	4	0	1	5	1
317	早稲田大学	30	15	5	0	0	20	10
319	実践女子大学	7	0	3	0	3	6	1
341	一橋大学	8	3	1	4	0	8	0
342	電気通信大学	9	0	0	0	0	0	9
350	相模女子大学	8	0	1	0	1	2	6
356	東京工業大学	51	16	1	3	0	20	31
362	聖心女子大学	2	0	0	0	1	1	1
364	日本女子大学	11	0	5	0	0	5	6
368	芝浦工業大学	1	1	0	0	0	1	0
369	津田塾大学	5	0	0	0	0	0	5
370	気象大学校	1	0	0	0	0	0	1
372	茨城大学	26	9	1	0	0	10	16
377	筑波大学大学院	2	1	1	0	0	2	0
378	横浜市立大学	14	3	2	0	0	5	9
379	東京農工大学大学院	1	1	0	0	0	1	0
384	関東学院大学	9	2	1	0	0	3	6
388	国際基督教大学	1	0	0	0	1	1	0
390	群馬大学	8	0	0	1	0	1	7
391	十文字学園女子大学	5	0	2	0	3	5	0
395	フェリス学院大学	1	0	0	0	0	0	1
401	静岡大学	34	4	1	0	0	5	29
402	名古屋大学	53	7	2	1	0	10	43
441	名古屋工業大学	7	1	0	0	0	1	6
444	椋山女学園大学	31	0	7	0	0	7	24
501	大阪大学	32	3	0	0	0	3	29
504	京都大学	46	5	1	1	0	7	39
506	神戸大学	19	3	0	0	0	3	16
507	立命館大学	6	0	0	0	0	0	6
541	京都女子大学	12	0	1	0	2	3	9
542	神戸松蔭女子学院	1	0	0	0	0	0	1
544	神戸工業高等専門学校	1	0	0	0	0	0	1
545	奈良女子大学	20	0	0	0	0	0	20
601	広島大学	6	0	0	0	0	0	6
	計	927	207	77	41	16	341	586

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

実行委員長	谷野 文史 (筑波17)	競技副責任者	瀬川 出 (東京14)
競技責任者	西下 遼介 (慶應義塾16)		
運営責任者	友田 賢吾 (東京経済18)		
コースプランナー	上島 浩平 (慶應義塾15)		
渉外責任者	山川 克則 (栃木県協会)	渉外副責任者	荻田 育徳 (栃木県協会)
広報責任者	楊 馨逸 (早稲田16)		
会計責任者	佐藤 珠穂 (法政17)		
エントリー責任者	伊部 琴美 (名古屋17)		
会場・表彰チーフ	伊藤 頌太 (慶應義塾18)	会場・表彰サブチーフ	栗本 美緒 (津田塾17)
スタートチーフ	富山 詩央里 (実践女子18)	スタートサブチーフ	小田 隼人 (東京農工18)
フィニッシュチーフ	根本 夏林 (東京17)	フィニッシュサブチーフ	鈴木 璃土 (筑波19)
パトロールチーフ	松尾 怜治 (東京14)		
配信チーフ	坂野 翔哉 (東京理科14)	配信サブチーフ	小柴 晃平 (筑波12)

<スタートチーム>

生田 峻 (関東学院17)	金子 詩乃 (日本女子17)	若月 俊宏 (東京工業18)
阿部 遼太郎 (横浜国立18)	友田 雄大 (早稲田14)	加藤 涼子 (慶應義塾19)

<フィニッシュ・計センチーム>

大鶴 啓介 (東京17)	根岸 健仁 (一橋19)	室井 葉介 (横浜市立18)
柏田 芳樹 (一橋17)	大西 正倫 (東京13)	

<会場・表彰チーム>

明神 紀子 (聖心女子 18)	海老 成直 (中央 04)	中川 和音 (日本女子 19)
-----------------	---------------	-----------------

<演出チーム>

桑原 大樹 (東京13)	長井 健太 (東京農工15)	前中 脩人 (東京13)
勝山 佳恵 (茨城15)	北川 賢也 (横浜市立15)	栗山 ももこ (横浜市立19)
池ヶ谷 みのり(一橋18)	岡野 幹生 (東京工業18)	金澤 晴樹 (京都18)
尾崎 高志 (早稲田01)	大竹 達也 (金沢13)	

<パトロールチーム>

日本学連OB/OG有志の皆様

<選手名鑑作成チーム>

羽田 拓真 (横浜国立19)	坂巻 朱里 (十文字女子19)
----------------	-----------------

<イベント・アドバイザー>

宮川 早穂 (立教12)

<イベント・アドバイザー補佐>

石澤 俊崇 (早稲田93)

<地図調査者>

宮西 優太郎 (宮西山野精図)

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細チーム
オフィシャルスタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

日本学生オリエンテーリング選手権実施規則

※ 条項に(ロング), (ミドル), (スプリント), (リレー)とある場合, 当該条項は, 該当する競技部門にのみ適用される。

第1章 全般的な規則

第1条 規則の適用

1.1 この規則は, 日本学生オリエンテーリング連盟(以下, 日本学連と略す)が主催する, 日本学生オリエンテーリング選手権大会(以下, インカレと略す)に適用される。

1.2 すべての選手登録者, 選手を支援する者(以下, チームオフィシャル), 競技を運営する者及びその他の併設大会参加者・観戦者・報道関係者など選手権競技者と接する者は, この規則に従う。

1.3 競技者ならびに主管者は, この規則の解釈にあたっては, スポーツとしての公正さの保持を第一義としなければならない。

1.4 インカレ実施規則で定められた事項を, 当該インカレに限定して不適用とし, 変更する必要がある場合, 2か月前までに理事会へ申し出なければならない。また, 不適用条項は技術委員会の諮問及び理事会の承認を必要とする。不適用条項と変更内容は, 要項に明記される。

1.5 インカレ以外の大会にインカレを併設して開催している場合, この規則に定める内容を不適用とする際は, イベント・アドバイザーの同意のみを必要とし, 理事会の承認を不要とする。

第2条 競技部門と競技形態・種別

2.1 インカレは, 次の8つの競技部門を設ける。

男子ロング:個人ロング・ディスタンス競技部門

女子ロング:個人ロング・ディスタンス競技部門

男子ミドル:個人ミドル・ディスタンス競技部門

女子ミドル:個人ミドル・ディスタンス競技部門

男子スプリント:個人スプリント競技部門

女子スプリント:個人スプリント競技部門

男子リレー:3名のリレー競技部門

女子リレー:3名のリレー競技部門

2.2 インカレは, すべて昼間競技で行う。

2.3 単一レース競技で行う。

2.4 (廃止)

2.5 インカレは, すべてポイント競技で行う。

2.6 男子ロング・女子ロングにおける優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者, 男子ミドル・女子ミドルの優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者, 男子スプリント・女子スプリントの優勝者をスプリント競技選手権者, 男子リレー・女子リレーにおける優勝校をリレー競技選手権校とする。

第3条 日程

3.1 インカレの各競技部門の開催は, 年1回とする。

3.2 インカレの日程と正式名称は, 原則として次のとおりとする。

秋インカレ(8月～12月):ロング, スプリント

春インカレ(1月～3月):ミドル, リレー

3.3 インカレは, 開会式, 閉会式を別途行うことができる。

第4条 参加規定

4.1 選手権競技者は, 以下のすべての条件を満たす。

- ・日本学連の加盟員であること
- ・初めて日本学連に登録した年度から数えて4年以内
- ・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満

4.2 各加盟校及び各準加盟校(以下, 各校と略す)は, 選手権競技者資格を有する者からなる選手登録名簿を申し込み時に提出する。

(ロング)

4.3 ロングの競技者数は, 男子60名, 女子30名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。ロングの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(ミドル)

4.4 ミドルの競技者数は, 男子60名, 女子30名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。ミドルの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(スプリント)

4.5 スプリントの競技者数は, 男子60名, 女子40名とし, 別に定める規則によって各地区学連に配分される。但し, 別に定める規則によって, 競技者数を追加することができる。スプリントの競技者は, 選手登録名簿に記載された者とする。

(リレー)

4.6 リレーの出場資格校は, 日本学連の加盟校及び準加盟校とする。各校は, 男女各々1チームをリレーに出場させることができる。リレーのチームは, 選手登録名簿に記載された者により構成される。但し, 男子リレーに女子選手を出場させることができる。

4.7 各校は, 選手登録者とは別に, チームオフィシャルを同行させることができる。各校は, チームオフィシャル登録名簿を申し込み時に提出する。各校に認められるチームオフィシャルの人数は, 以下のとおりとする。

男子クラスの選手権への選手登録に対して, 2名

女子クラスの選手権への選手登録に対して, 2名

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

4.8 参加者は、自己の安全に対して自分で責任を負う。参加者が負った怪我、障害、損害について主催者は一切責任をもたない。また、参加者が第三者に与えた損害についても参加者自身が責任を負う。

第5条 要項

5.1 主管者は、インカレに関する必要な情報を、要項としてすべての地区学連及び日本学連事務局へ送付あるいはWebサイトにて公開あるいはメールにて送付する。

5.2 インカレの要項の発行時期は、以下の通りとする。要項1 (6カ月前):

開催日、開催地、主管者の連絡先、競技責任者の氏名、イベント・アドバイザーの氏名、立入禁止区域

要項2 (4カ月前):

日程、トレインの概要、地図に関する情報(縮尺、等高線間隔、走行可能度表示)、トレインの標高(コースの15 %以上が1,200 mを超える場合のみ)、採用するパンチングシステム、コース設定者の氏名、トレーニング・モデルイベントに関する情報、一般クラス・併設大会がある場合その情報、観戦者のための情報、宿泊・輸送に関する情報、参加費、申込方法、申込締切日、申込用紙

要項3 (2週間前):

気象、特殊な地図表記、コース距離・登距離、優勝設定時間、特殊な位置説明、スタート時刻、競技のタイムスケジュール、集合場所、代表者ミーティングに関する情報、承認された実施規則の不適用条項と変更内容、その他競技に関する留意事項

第6条 申し込み

6.1 インカレの申し込みは、所定の用紙によって、要項2に示された締切日までに行われる。但し、選手登録名簿の変更は、大会開催の6週間前まで認められる。

(ロング、ミドル、スプリント)

6.2 各地区学連の代表者は、ロング、ミドル、スプリントにおいて、競技前日の16時までであれば、競技者を交替させることができる。

6.3(廃止)

(リレー)

6.4 リレー出場校は、リレーの競技者と競技順を競技前日の16時までに提出する。競技者に不慮の事故の場合、リレー競技開始1時間前までであれば競技者を交替させることができる。但し、この場合は裁定委員の承認を必要とする。

第7条 トレーニングとモデルイベント

7.1 事前に実際の競技で使用するものに似たトレイン・地図でのトレーニングの機会が提供されることが望ましい。

7.2 競技の前日に、モデルイベントが提供されることが望ましい。モデルイベントでは、実際の競技におけるトレインのタイプ、地図の質、コントロールの置かれる特

徴物、コントロール器具の設置状態、給水コントロールの設置状態、誘導区間のそれぞれの状況がわかることが望ましい。

7.3 電子パンチングシステムを使用する場合、モデルイベントにおいて実際の競技に用いる器具の使用機会が提供されることが望ましい。

第8条 スタート順の決定とスタートリスト (ロング、ミドル、スプリント)

8.1 ロング、ミドル、スプリントのスタート抽選は、イベント・アドバイザーの元で、あるいは公開で行われ、当該競技前日の17時までには発表される。

8.2 ロング、ミドル、スプリントにおいては、スタート順等において配慮される競技者(シード選手)を設けることができる。シード選手は、競技開催1カ月前までに理事会が決定する。シード選手の選出数は競技者の1/6程度までの人数とする。

8.3 ロング、ミドル、スプリントは、男女それぞれ1人ずつ同一の時間間隔でスタートする(タイムスタート)。スタート間隔は、ロング、ミドルは少なくとも2分間はとるものとする。スプリントは少なくとも1分間はとるものとする。

8.4 (廃止)

8.5 (廃止)

8.6 (廃止)

8.7 リレーにおけるコースの組み合わせの抽選は、イベント・アドバイザーの元で、あるいは公開で行われる。コースの組み合わせは、最後の競技者がスタートするまで秘密にされる。

8.8 リレーのスタートは、マススタートとする。

第9条 成績

9.1 成績速報は、競技進行中順次掲示される。フィニッシュ閉鎖後1時間以内にすべて掲示される。

9.2 公式成績には、失格者も含めすべての競技者が記載される。リレーの成績は、競技順・各競技者の名前と所要時間・コースの分割方法と組み合わせも記載される。

第10条 調査依頼と提訴

10.1 各校は、競技者、あるいは主管者の規則に対する違反についての調査依頼を行うことができる。調査依頼は、主管者に対し文書で行う。成績速報に関する調査依頼は、フィニッシュ閉鎖後1時間以内に行う。

10.2 調査依頼に対する主管者の回答に疑義がある場合、提訴を行うことができる。提訴は、裁定委員会に対し文書で行う。

第11条 表彰

11.1 各競技部門6位までを表彰する。

11.2 参考記録の者及び学校は表彰の対象とならない。

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

第12条 報告書

12.1 各競技終了後3カ月以内に、主管者は次の内容の報告書を作成する。

- ・大会実施報告
- ・スタート順と公式成績
- ・イベント・アドバイザーの報告
- ・将来への提言

12.2 報告書は、すべての加盟校及び準加盟校、日本学連事務局、及び次年度の主管者に送付される。

第2章 競技に関する規則

第13条 テレイン

13.1 テレインは、インカレのコース設定に適していなければならない。テレインの選定に際しては、環境保護に十分留意しなければならない。

13.2 特定の競技者が有利になることがないように、インカレ以前には出来るだけ長い期間、オリエンテーリングに使用されていないものとする。

第14条 コース

14.1 インカレのコース設定にあたっては、国際オリエンテーリング連盟(IOF)の『コース設定の原則』に従う。

14.2 コースの水準は、インカレに適切でなければならない。

14.3 コントロールを回る順番は、主管者によって指定される。競技者はこれを守り、主管者はこれを確認する。

14.4 コース上の誘導区間は、競技者は必ずこれをたどるものとする。誘導区間の開始地点には必ずコントロールを置く。

(ミドル、ロング)

14.5 男子コースと女子コースは、可能な限り別のコントロールを用いる。

14.6(廃止)

14.7 選手権以外のコースがある場合、可能な限りコントロールは別のものを用いる。

14.8 リレーでは、コントロールは分割され、チームごとに別々に組み合わせられる。全チームが順番は異なっても、全体としては同一のコースを回る。テレインとコースのコンセプトが許す場合、各走区の距離を変えることができる。全チームは、異なる距離の走区を同じ順番で走らなければならない。

14.9 個人競技種目においてはコントロールを各選手毎に異なるように組み合わせることが出来る。但し、全選手は全体としては同じコースを走らなければならない。(バタフライ)

14.10 主管者は、環境保護あるいはそれに類する理由のための指示を競技者に与えることができる。競技者は、これを厳守しなければならない。

第15条(廃止)

第16条(廃止)

第17条 距離と登距離

17.1 コースは、以下の優勝時間を想定し、設定される。

	男子	女子
ロング	70-80分	55-65分
ミドル	35-40分	35-40分
スプリント	13-15分	13-15分
リレー(各競技者)	30-50分	30-45分
リレー(合計)	120-150分	110-135分

17.2 コース距離は、スタートからすべてのコントロールを経由してフィニッシュまでの直線距離で示される。但し、物理的に通過不能な障害物(高いフェンス、湖、通れない崖等)、立ち入り禁止区域および誘導区間は、迂回した距離で測定する。

17.3 コース距離は、要項3で実際のコース距離が発表される。

17.4 登距離は最も速く走れると予想されるルートに登距離で示される。ロングの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の7%を越えないように設定される。ミドル、リレーの登距離は、最も速く走れると予想されるルートの距離の6%を越えないように設定される。

17.5 登距離は要項3で実際の登距離が発表される。

第18条 地図

(ロング、ミドル、リレー)

18.1 地図はJOAの『日本オリエンテーリング地図図式規程』に適合したものを使用する。特別な表記の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。これらの変更点は、要項3に明記される。

(スプリント)

18.2 スプリントの地図はJOAの『日本スプリントオリエンテーリング地図図式』に適合したものを使用する。

18.3 地図印刷後に生じたテレイン内の変化のうち、競技に影響を与えるものは、地図上で修正される。

(ロング)

18.4 ロングに使用する縮尺は1万5千分の1で、等高線間隔は5mとする。テレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。

(ミドル、リレー)

18.5 ミドル、リレーに使用する縮尺は1万分の1で、等高線間隔は5mとする。テレインを適切に表現するため、またはコース設定・競技上の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベント・アドバイザーの同意を必要とする。

(スプリント)

18.6 スプリントに使用する縮尺は4千分の1または5千分の1で、等高線間隔は2mまたは2.5mとする。テレ

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

インを適切に表現するため、またはコース設定・競技場の制約等のため、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、イベントアドバイザーの同意を必要とする。

18.7 競技に影響を与える恐れがあり、かつ、地図からは読み取れないトレイン内のコンディションについては、遅くとも要項3で発表される。

18.8 競技用地図は、水分や損傷に耐えるように両面が保護される。

18.9 競技に使用するトレインに過去のオリエンタリング地図がある場合、これらの地図は、競技に先立ってすべての加盟校及び準加盟校に公開される。

18.10 競技当日は、主管者の許可が出るまでは選手登録者及びチームオフィシャルが競技区域のいかなる地図を利用することも禁止する。

第19条 地図上でのコースの表記

19.1 競技用地図は、以下のように表記される。

コース設定記号の寸法は、縮尺が1:15000のときのmm単位で規定される。より大縮尺の地図の場合、記号は比例して拡大されなければならない(1:10000では150%, 1:5000では300%)

- ・オリエンタリングの開始地点は、正三角形(1辺6 mm)。
- ・コントロールは、円(直径5 mm)。
- ・フィニッシュは、2重同心円(直径4 mmと6 mm)。
- ・誘導区間は、破線。

19.2 三角形、及び、円の中心は特徴物の正確な位置を示す。コントロールフラッグが特徴物の周囲に設置される場合でも、特徴物を中心として印刷される。

19.3 コントロールは、回る順番を指示するために、南を下にして正立された数字によって示される。

19.4 誘導区間がある場所を除き、三角形と円は、直線により、順番に結ばれる。コントロールの円とそれを結ぶ直線は、重要な地図上の表現を見えにくくする場合には、部分的に直線を切ったり、細く描いたりすることができる。

19.5 誘導区間は、すべて地図上に示される。誘導区間の終端から再びオリエンタリングを開始する場合は、地図上で破線の終端と次のコントロールが直線で結ばれる。ただし、リレー競技におけるスタート地点からオリエンタリング開始地点の誘導については、地図の判読性の都合上記載しなくてもよい。

19.6 コース印刷においては、透明な赤紫色、あるいは赤色を使用する。

第20条 その他の追加表記

20.1 立ち入り禁止の範囲は全てクロスハッチングにより表記する。外郭線は以下のように表記される。

- ・現地でテープなどが連続して表示される場合は、実線。
- ・現地でテープなどが間隔をおいて表示される場合は、

破線。

- ・現地で表示のない場合は、外郭線を記入しない。

20.2 通行禁止のルート(自動車道など)は、×の連続で表す。

20.3 外向きの2つの括弧((は、コースに関した重要通過地点、経路(例:渡河地点、道の下のトンネル)を示すのに用いられる。

20.4 追加表記の色は、コースと同一の色とする。

第21条 コントロール位置説明

21.1 コントロールの位置説明は、JOAの『コントロール位置説明仕様』に従って作成する。

21.2 コントロール位置説明表は、地図の表面に貼付されるか、印刷される。

(ロング、ミドル、スプリント)

21.3 コントロール位置説明表は、スタート枠にて配布される。また、事前に配布される位置説明表の大きさを公表するのが望ましい。

21.4(廃止)

(リレー)

21.5 リレーで使用されるすべてのコントロール位置説明の一覧は、リレー前日の代表者ミーティングが始まるまでに参加各校の代表者に配布される。但し、コントロールのつながりについては表示されない。

第22条 現地における表示

22.1 誘導区間は、赤と白の2色のテープにより示される。

22.2 立ち入り禁止区域の外郭が表示される場合、青と黄の2色のテープにより示される。

第23条 コントロールの設置と器具

23.1 すべてのコントロールには、コントロールフラッグが設置される。

23.2 コントロールフラッグは、3つの正方形を三角柱状に結合した形とする。それぞれの面は、およそ30cm×30cmで、対角線によって2分して白とオレンジに色分けする。

23.3 コントロールフラッグは、地図上に示された特徴物の場所に、競技者が特徴物にたどり着いたときに見えるようにして設置される。

23.4 コントロールは、30m以内(縮尺1:5,000または1:4000では25m以内)に近接して設置すべきでない。さらに特徴物が同じコントロールは60m以内(縮尺1:5,000または1:4,000では30m以内)に近接すべきでない。

23.5 コントロールは、その場所に競技者がいるかいかで難易度が変わらないような場所が望ましい。

23.6 すべてのコントロールは、数字によるコントロール識別番号で区別される。コントロール識別番号は白地に黒で書かれ、競技者がはっきり読めるように示される。

23.7 コントロールの器具は、コース上のすべてのコン

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

トロールで同一のものを使用する。十分な数のパンチもしくはユニットをコントロールフラッグのすぐ近くに設置する。

23.8 コントロール役員は競技者を妨げてはならず、タイム・順位・その他の情報を与えてはならない。さらにコントロール役員は、静粛に、目立たない服を着用して、競技者がコントロールに接近するのを手助けしてはならない。これらの規則は、ラジオやテレビコントロール役員、給水コントロール役員、報道関係者にも適用される。但し、演出の都合で情報の提供が行われる場合はイベント・アドバイザーの了承を得て実施することが出来る。

23.9 優勝設定時間が45分を超える競技は、給水所を設ける。給水所には、飲料水が用意される。

第24条 パンチングシステム

24.1 使用するパンチングシステムは、主管者の判断にゆだねられる。

24.2 (廃止)

24.3 (廃止)

24.4 コントロール通過証明がされていない、あるいは判別できない場合、(ユニットの不調など競技者の過失でなくても)この競技者は失格となる。但し、バックアップにより通過が証明された場合は、失格とならない。

24.5 電子パンチを用いる場合には、バックアップシステムを用いなければならない。

第25条 スタート

(ロング、ミドル、スプリント)

25.1 ロング、ミドル、スプリントはプレスタート方式とすることができる。この場合、競技者がスタートへゆっくり走っていった間に合うようにプレスタートを設定する。

(ロング、ミドル、スプリント)

25.2 競技者はスタートと同時に自分で地図を取る。

(リレー)

25.3 リレーでは、第1競技者はスタートと同時に、以降の競技者はスタート後の地図の支給地点で、自分で地図を取る。

25.4 正しい地図を取るのには、競技者の責任である。主管者は、競技者が他の競技者によって妨げられることなく地図を取れるように配慮し、競技者が間違った地図を取らないように充分注意する。

25.5 すべての競技者は、最低20分のウォーミングアップをする時間を取れる。スタート前の競技者とチームオフィシャル以外は、ウォーミングアップエリアに入れない。ウォーミングアップエリアは、スタートのできる限り近くに設定する。

25.6 オリエンテーリングの開始地点は、地図上で三角のスタート記号で示される。現地にはコントロールフラッグを置く。

25.7 オリエンテーリングの開始地点は、地図面あるいは先行する競技者のルート選択が、スタート前の競技者その他に見えないような場所に設定される。必要に応じて、スタートからオリエンテーリングの開始地点までを誘導区間とすることができる。

25.8 競技者が自己の責によりスタートに遅刻した場合、到着次第すぐにスタートすることができる。この場合、正規のスタート時刻にスタートしたものとして計時される。主管者は、正規にスタートする競技者に影響を与えないように、いつスタートさせるかを決めることが出来る。

25.9 主管者の責により競技者が遅刻した場合、競技者は、新しいスタート時刻を与えられる。

(リレー)

25.10 リレーでは、次競技者は引継を受ける3分以上前に、前競技者が近づいたことを告知される。但し、主管者は告知に問題があっても責任を負わない。

(リレー)

25.11 リレーにおいて、次競技者への引継は、指定された区域(チェンジオーバーエリア)で、両競技者の接触により行う。

(リレー)

25.12 リレーにおいて、運営を円滑に行うために、未出走の競技者をマススタートで出走させることができる(リスタート)。

第26条 フィニッシュ

26.1 計時線は、フィニッシュへの走路に対して直角とする。

26.2 計時線は、競技者が遠くから識別できるようになっていなければならない。

26.3 計時線を通過した競技者は、通過証明が記録されたものをフィニッシュ役員に手渡す。リレーでは、地図とコントロール位置説明表も手渡す。

26.4 フィニッシュ閉鎖時刻は、事前に発表される。

26.5 フィニッシュ地点には、救護所を置く。

第27条 計時と順位

27.1 フィニッシュ時刻は、計時線のところで計られる。その時刻は、競技者の胸が計時線を横切った時刻、あるいは競技者が計時線上でパンチした時刻とする。計時は秒単位まで行う。秒未満については切り捨てる。タイムは、時・分・秒、あるいは、分・秒のどちらかで表示される。

27.2 コントロールを抜かした場合(あるいは、間違ったコントロールをチェックした場合)、また、指定された以外の順番でコントロールを回ったことが判明した場合には、競技者は失格となる。

(ロング、ミドル、スプリント)

27.3 2人以上の競技者が同タイムの場合、これらの競技者は同順位となる。成績表・報告書の中で彼らは同順位

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

となるが、スタート順に並べられる。また、この場合次の順位は空位とする。

(リレー)

27.4 リレーでは、チームの全競技者の合計タイムがそのチームの成績となる。チームの順位は、最終競技者のフィニッシュした順番により決定される。着順判定員が順位判定を下す。同着はない。

27.5 リスタートをしたチームは参考記録とする。

27.6 競技時間は、ロングでは2時間30分まで、ミドルでは1時間40分まで、スプリントでは40分までとする。この時間を超えた競技者は失格とする。リレーでは5時間までとする。

第28条 服装と用具

28.1 主管者が定めない限り、服装の選択は自由である。

28.2 ナンバーカードは、競技中常にはっきり見えるようにして、胸と背中に着用する。ただし、ミドル、スプリントに関しては少なくとも胸に着用すればよい。ナンバーカードの大きさは、25×25 cmを超えないものとする。数字は、最低でも10 cm以上の高さが必要である。

28.3 競技中は、コンパス、時計と、主管者から支給された地図、コントロールカード、コントロール位置説明表のみ使用してよい。その他のオリエンテーリングの技術的な補助器具の使用は禁止する。

第29条 競技上の公正

29.1 インカレに関与するすべての者は、公正と正直を旨に行動しなければならない。スポーツ精神と友情を忘れてはならない。競技者は、他の競技者、役員、報道関係者、観客、トレインや大会区域に居住する人たちを尊重しなければならない。

29.2 主管者は、イベント・アドバイザーの同意を得て、前もって競技を行うトレインの位置を公表するとともに、立入禁止区域を設定することができる。トレインの位置を公表しない場合、すべての役員は、大会区域とトレインを厳重に秘密にしておかななくてはならない。

29.3 選手登録者及びチームオフィシャルは、競技を行うトレインにあらかじめ立ち入ることは禁止される。主管者により発表された事項以上のコースに関する情報を得ようとすることは、禁止される。

29.4 競技中は、以下の行為を禁止する。

- ・外部からの助力を得ること
- ・共同で走り、方向決定を行うこと
- ・故意に他の競技者を追走し、その競技者の能力を利用しようとする
- ・他の者から情報を得ようとする

29.5 競技者は、一度計時線を越えたら、主管者の許可なく競技区域に入ってはいけない。

29.6 棄権した競技者は、フィニッシュを必ず通過しなければならない。また、この者は、決して競技に影響を及ぼしてはならない。

29.7 あらゆる種類の移動手段の利用は、禁止される。

29.8 参加者及び主管者は、競技を妨害してはならない。

29.9 インカレ実施規則を犯したことが判明した競技者は、失格となる。

29.10 主管者は競技の公平性を尊重する立場から、参加者に対し、必要に応じてドーピング検査を実施することができる。なお実施条件を29.11に設ける。

29.11 インカレにおいて主管者が参加者に対しドーピング検査を実施する場合、要項2(4ヶ月前)でドーピング検査実施の可能性を示し、要項3(2週間前)でドーピング検査の有無を決定付けるものとする。

第3章 運営に関する規則

第30条 インカレ実行委員会

30.1 インカレは、インカレ実行委員会が主管する。

30.2 インカレ実行委員会は、当該インカレの1年前までに理事会の承認のもとで組織される。

第31条 秘密保持

31.1 主管者、イベント・アドバイザー及びその補佐、その他トレインやコースを知る者は競技上の公正さを保つための秘密を保持する義務を負う。

第32条 経費

32.1 インカレ運営に関する経費は、主催者が支出する。

32.2 主催者は、参加者から参加費を徴収することができる。

第33条 裁定委員会

33.1 裁定委員会は、異なる出身校の3名で構成される。裁定委員は、理事会が指名し、競技の前日までに全員の氏名が公表される。裁定委員は、大会組織に関与してはならない。

33.2 裁定委員会の審議には、イベント・アドバイザーと主管者の代表は参考人として出席することができる。

33.3 裁定委員会は、大会中に起きた規則あるいはその他の問題に対する提訴に裁定を下す。裁定委員会の審議は、3人全員の出席をもって成立する。任務を遂行できない裁定委員があったときには、理事会は代理を指名しなければならない。

33.4 裁定委員会の判断は最終的なものである。

第34条 イベント・アドバイザー

34.1 イベント・アドバイザーは、日本学連を公式に代表し、主管者に対して派遣される。

34.2 イベント・アドバイザーは、技術委員会の助言のものと、技術委員会の委員の中から理事会が指名する。指名は、当該インカレの1年前までに行われる。

34.3 イベント・アドバイザーの主な任務は、インカレ実施規則が遵守されていることを確認することである。また、必要のある事項については技術委員会との協議を行

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

う。

34.4 イベント・アドバイザーは、インカレが適正に行われるように、少なくとも以下の任務を遂行する。

- ・要項の内容を確認すること
- ・会場、テレインの適格性を確認すること
- ・スケジュール全体(宿泊、食事、輸送、日程、費用、トレーニングの機会)を確認すること
- ・スタート、フィニッシュ、チェンジオーバーエリアのシステムとレイアウトを確認すること
- ・計時システムの信頼性と正確性を判断すること
- ・地図が規定に合致しているか確認すること
- ・地図の正確さ、作図・印刷の妥当性を確認すること
- ・コースの適格性(距離、競技時間、難易度、コントロール位置と設置状態、偶然性の排除など)を確認すること
- ・リレーにおいては、コースの分割方法と組み合わせが適切かどうか確認すること
- ・コントロール位置説明が適切かどうか確認すること
- ・式典が適切かどうか判断すること
- ・競技への影響の可能性の観点から、報道関係者、観客等に対する処遇を確認すること
- ・運営組織、人事、会計及び競技運営全般を確認すること

34.4 インカレ開催中、イベント・アドバイザーは、大会会場に常駐し、以下の任務を遂行する。

- ・主管者に対して助言を与えること
- ・裁定委員会の提訴に関わる審議を補佐すること

34.5 イベント・アドバイザーは、以上の他に自分の裁量で、インカレの準備と実行に関係ある活動を確認する。

34.6 イベント・アドバイザーは、必要に応じて任務を補佐する者を指名することができる。イベント・アドバイザー補佐は、特に、地図作成、コース、イベント、運営組織、人事、会計、スポンサー、メディア等のうち、イベント・アドバイザーが必要と考える分野において、任務を補う。

34.7 (廃止)

第35条 報告

35.1 主管者は、当該インカレ開催後2週間以内にイベント・アドバイザーに以下のものを送付する。

- ・公式成績
- ・各競技部門のコース図および全コントロール図
- ・その他必要と思われる資料

35.2 イベント・アドバイザーは、当該インカレ開催後3カ月以内に幹事会、理事会及び技術委員会にその活動の報告を送付する。

35.3 主管者は、すべての要項とプログラム、大会報告書を日本学連事務局に送付する。日本学連事務局は、これらを資料として保存する。

第36条 メディア・サービス

36.1 主催者および主管者は、メディア取材者に対して、報道するに好都合な機会を提供することが望ましい。

36.2 主管者は、競技の公平さを損ねない限りにおいて、メディアの報道のために最大限の努力をすることが望ましい。

第37条 改正

37.1 本規則の改正は総会の議決による。

第38条 施行

38.1 本規則は2004年4月1日より施行する。

38.2 本規則は2004年11月8日より改正施行する。

2003年11月15日 制定

2004年11月 6日 改正

2005年11月 7日 改正

2007年 4月 1日 改正

2008年 3月10日 改正

2009年11月22日 改正

2015年 3月 9日 改正

2016年 3月14日 改正

2019年11月 9日 改正

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

歴代入賞者紹介

第1回 2015年10月3日 長野県諏訪郡富士見町

男子

1	稲森 剛	横浜国立 1	12:36
2	宮西 優太郎	東北 4	13:04
3	小林 隆嗣	東北 2	13:13
4	宮本 樹	東京 1	13:20
5	築地 孝和	神戸 3	13:46
5	角田 貴大	横浜国立 2	13:46

女子

1	五味 あずさ	金沢 4	12:12
2	守屋 舞香	桐山女学園 4	13:28
3	山岸 夏希	筑波 1	14:43
4	松田 沙也加	岩手 4	15:27
5	帯金 未歩	大阪 3	15:46
6	香取 菜穂	千葉 1	16:11

第2回 2016年11月19日 栃木県下野市

男子

1	伊藤 樹	横浜国立 2	14:53.6
2	小松 栄輝	東北 4	15:18.4
3	種市 雅也	東京 1	15:32.3
4	築地 孝和	神戸 4	15:44.3
5	大田 将司	一橋 2	15:49.0
6	稲森 剛	横浜国立 2	15:51.1

女子

1	中村 茉菜	早稲田 4	14:13.8
2	勝山 佳恵	茨城 2	14:21.8
3	出田 涼子	大阪 1	15:43.8
4	香取 菜穂	千葉 2	15:48.8
5	山岸 夏希	筑波 2	16:17.7
6	本間 実季	東北 4	16:19.5

第3回 2017年11月11日 岐阜県大垣市上石津町時

男子

1	種市 雅也	東京 2	14:02
2	松尾 怜治	東京 4	14:28
3	角田 貴大	横浜国立 4	14:43
4	高野 兼也	新潟 4	14:50
5	大橋 陽樹	東京 2	15:04
6	杉浦 弘太郎	名古屋 4	15:06
6	稲盛 剛	横浜国立 3	15:06

女子

1	佐野 萌子	京都女子 3	13:39
2	増澤 すず	筑波 2	14:00
3	勝山 佳恵	茨城 3	14:09
4	宮本 和奏	筑波 1	14:27
5	伊部 琴美	名古屋 1	14:28
6	伊東 加織	東北 2	14:34

第4回 2018年9月15日 長野県駒ヶ根市

男子

1	桃井 陽佑	慶應義塾 3	12:21.3
2	種市 雅也	東京 3	12:51.2
3	伊藤 樹	横浜国立 4	12:59.6
4	大橋 陽樹	東京 3	13:08.2
5	上島 浩平	慶應義塾 4	13:14.2
6	伴 広輝	京都 4	13:26.3

女子

1	伊部 琴美	名古屋 2	12:13.1
2	増澤 すず	筑波 3	12:51.5
3	青代 香菜子	東北 3	13:02.2
4	出田 涼子	大阪 3	13:28.5
5	高橋 友理奈	東北 4	13:40.5
6	伊東 加織	東北 3	13:45.8

第5回 2019年11月9日 岐阜県中津川市

男子

1	小牧 弘季	筑波 3	14:42.1
2	大石 洋輔	早稲田 3	15:42.5
3	川島 聖也	神戸 4	15:44.6
4	岩井 龍之介	京都 4	15:59.9
5	椎名 晃丈	東京 3	16:24.1
6	住吉 将英	名古屋 3	16:31.3

女子

1	伊部 琴美	名古屋 3	15:00.9
2	増澤 すず	筑波 4	15:26.3
3	青代 香菜子	東北 4	16:18.1
4	香取 瑞穂	立教 3	16:19.5
5	世良 史佳	立教 3	16:44.7
6	出田 涼子	大阪 4	17:01.8

ご挨拶

はじめに

タイム
テーブル

大会全般

会場への
アクセス

競技情報

スプリント
競技詳細

チーム
オフィシャル

スタート
リスト

参加者数

大会役員

インカレ
実施規則

歴代入賞者

SALMING.
no nonsense.

OT COMP

オーティーコンプ

サルミング オリエンテーリングシューズ

重量: 214g (24.5cm)
ラグの長さ: 7mm
価格: ¥16,720 (税込み)

ダニエル・フブマン使用モデル。ミシュラン社製ソールを採用し、強力なグリップと、泥がはがれやすい特殊機能を持ちます。

世界王者ダニエル・フブマン（スイス）が開発に参加したシューズ。
ミシュラン社のオフロード用特殊素材をモトクロスバイクタイヤ用のパターンに配置し、
強力なグリップ力と、泥土の中で安定した足場を瞬時に見つける貫通力、ソールに残る泥をはがすセルフクリーニング力を併せ持ちます。
アッパー（甲の部分）はメッシュ2重構造で作られ、土砂の排除と排水性を高立しています。

What is SALMING ?

サルミングは1991年にスウェーデンで創設されたスポーツブランドです。
2014年にランニング部門をスタートし、翌2015年にオリエンテーリングに適したシューズ「エレメンツ」の製造を開始、その後、世界王者ダニエル・フブマン（スイス）と契約し、同選手監修の下「OT COMP」を開発。どのシューズも軽量かつ強力なグリップ力を持ち、世界中で使用選手が増加しています。日本オリエンテーリング協会公式パートナーです。

no nonsense shoes for no nonsense people !
salmingrunning-japan.com

サルミングストア東京本店 アルバイト募集中！
お問い合わせは order@kitahefu.com まで！

お問い合わせ：サルミングストア東京本店（Kitahefu 合同会社内）
<https://www.kitahefu.com/salming-store-tokyo.html>
〒115-0051 東京都北区浮間2-24-7 2F
電話：03-6454-9850 E-mail: order@kitahefu.com



OT COMP (ボセイドン)
25.5cm~29.0cm

OT COMP 女性用 (ディーブティール)
22.5cm~27.0cm

ORIENTEERING SHOES

サルミング オリエンテーリングシューズ

SALMING.
no nonsense.

エレメンツ

サルミングもう一つのオリエンテーリングシューズ。OT COMPよりも深いラグが特徴。ソールの耐久性が高く、練習用に適しています

水中から湿地、岩場、ドライな路面まで、あらゆる環境に対応するオフトレイルシューズで、オリエンテーリング用として世界中で使用されています。クッション性はOT COMPに譲るものの、ソールのラグが深く、またつま先周辺の補強も広範囲にわたって施されています。ソールの耐久性も高く、普段の練習用に適しています。

重量:200g (24.5cm)
ラグの長さ:8mm
価格:¥15,400 (税込み)

女性用シューズについて

女性用シューズは女性の足を想定し、男女兼用版よりも細く作られています。男性がお使いになる場合は、0.5cm~1cm大きいサイズをお薦め致します。



エレメンツ (ゲッコグリーン)
25.5cm~29.5cm



エレメンツ 女性用 (セーフティエロ)
22.5cm~27.5cm



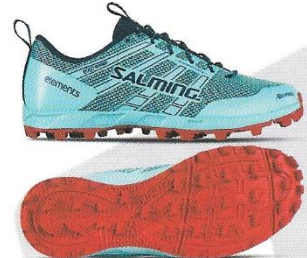
エレメンツ 女性用 (ピンクグリーン)
22.5cm~27.0cm



エレメンツ (ブラック/ニューオレンジ)
22.5cm~29.5cm



エレメンツ (ネイビーブルー)
26.0cm~28.0cm



エレメンツ 女性用 (アルプブルー)
22.5cm~25.5cm

TRAIL SHOES

サルミング トレイルシューズ

トレイルT5/ハイドロ

ビブラム社製ソールを使用し、コンクリートでも強力なグリップを発揮する万能型。ハイドロは防水仕様モデル

アウトソールにビブラム社製「メガグリップ」を採用。濡れた山道、泥土、乾いた岩盤、コンクリートなど、あらゆる路面で、強いグリップ力を発揮し、スプリント競技にも使用できます。ハイドロはアッパーに防水加工が施されたモデルです。いずれもクッション性、耐久性にも優れており、練習用としてもお薦めです。トレイルT5は世界最大のスポーツ見本市「ISPO」2017-2018シーズンのパフォーマンスカテゴリを受賞しています。

T5 重量:230g (24.5cm)
ハイドロ 重量:233g (24.5cm)
価格:¥18,150 (税込み)



ビブラムはスポーツ用ゴム製アウトソールの世界的権威。1937年に創業され120か国以上に展開しています



トレイルT5 (ボセイドンブルー)
25.5cm~30.0cm



トレイルT5 女性用 (ボビーレッド)
22.5cm~27.5cm



トレイルハイドロ (グレー)
25.5cm~31.0cm



トレイルT5 (セーフティエロ)
27.5cm~28.0cm



トレイルT5 女性用 (ブルー/フルデイエロ)
22.5cm~24.5cm



トレイルハイドロ 女性用 (グレーグリーン/ブラック)
22.5cm~27.5cm

Salming Shoes technologies...

サルミングランニングシューズ 8つの機能的特徴

exo

EXOスケルトン

側面に骨格のように施された「EXOスケルトンデザイン」によって左右移動時の安定性が向上し、足関節部への負荷が軽減。特につま先に加わる横からの衝撃が緩和されています。

MICHELIN

ミシュラン製アウトソール

オフロードタイヤに使用される「ミシュランOCX」を採用。濡れた滑りやすい路面でも強力なグリップを発揮しつつ、ソールに残る泥がはがれやすいセルフクリーニングの効果も持ちます。

2 LAYER

2レイヤー構造

メッシュ素材を重ねることによって、土砂の侵入を防ぎつつもシューズ内の水が抜けやすい適度なバランスを実現。この構造はサルミングの特徴である軽さ、快適な履き心地の秘密でもあります。

ROCKSHIELD

ロックシールド

アッパーの側面に施されたPU素材の保護シールド。ケガの原因になる鋭利な岩や小枝からオリエンティアの足を守ると同時に、シューズの破損を抑え、耐久性を高める効果もあります。

ROOMY ToeBox

ルーミートボックス

身体力学の観点から、接地時に足指を正しく広げられる構造が必要と考え、つま先部分が広く設計されています。横幅の広い足型にもサルミングのシューズでは相性が良く、日本人が履きやすい形状になっています。最もフラットな傾斜です。

DROP 4

ドロップ4

かかとからつま先にかけての傾斜は4mm。不意地を走る競技特性を考慮し、前傾し過ぎない自然なランニング姿勢をアシストします。サルミングのシューズでは最もフラットな傾斜です。

RUNlite

ランライト

快適な接地性のために、ミッドソールには特殊な「耐摩耗インジェクションEVA」を採用。この素材は軽量で、俊敏性を高めるとともに、踏み込んだ地面からは柔軟が感触が得られます。

TGS 62/75

TGS 62/75°

かかとから拇指球までの長さをソール全体の62%に、拇指球からつま先にかけての屈曲を75°に設定。シューズが正しい位置で屈曲し、安定性と横移動も前方への自然な動きが実現します。



東北大の旗は翻る

熱い走りで会場を沸かせてください！
東北大の活躍を楽しみにしています！

平野弘幸(2010 入学)

最後まで走り抜け
赤井章吾(2014 入学)

緊張や不安もあると思いますが、
思いっきり楽しんで頑張ってください！
高橋友理奈(2015 入学)

勝利を信じて、ひたむきに進め！
三國稔男(2015 年入学)

ぎゅっと集中して全力を出し切れるよう
頑張ってください。
齋藤新平(2014 入学)

主将と主務は出来るだけ同乗を避けよう。
柏倉佳介(1997 入学)

偶然にも開催地の那須塩原市在住
なので現地情報です。
11月の時点で結構寒いです。体調
を整えて良いレースを！
菅野敬雅(2010 入学)

ビジュアルとかで逆走しないように
気をつけてください
高本育弥(2015 入学)

感謝の思いを忘れずに、最高の走りを見せてください！
堀江優貴(2014 入学)

悔いなく走り切ってください！
黒澤祐貴(2015 入学)

自信をもって大胆に、時に冷静に、
精一杯頑張ってください！
佐藤俊太郎(2014 入学)

継続は力なり。
記憶と記録に残るような名勝負を
期待しています
橋本正毅(2013 入学)

頑張れ東北大+MG！
関根直紀(2014 入学)

全集中の呼吸・常中！頑張ればなんかすごいぞ！
頑張れねづこ！
(2016 入学一同)

短いですが、めいいっぱい集中して
走り抜けてください！
福永貴弘(2015 入学)

スプリント楽しんでください！
応援してます！
長谷川真子(2014 入学)

スプリントが一番苦手で、一番好
きな種目でした。ナビゲーション
とスピードのギリギリを攻めるあ
の緊張感を、インカレという舞台
で堪能してください。
坂本譲(2014 入学)



青葉会は東北大学オリエンテーリング部を応援しています

スプリントならではの毎秒毎秒の緊張感すらも楽しんで！良いレースを！！(2016 工学システム 佐野響)

絶望の中、自分たちで自分たちのために動いて築けた舞台。思いっきり駆け抜けて！(1982 生物 宮本知江子)

どんなときも元気に楽しく！どんなときも雷のように素早く！どんな試練も最後までやり抜く！ぬるくないか？
いまの自分！(2011 社会工学 野本圭介)

那須塩原の美しい公園で、見える他の選手に惑わされずに地図を読み解きながら、
全力疾走を維持してがんばってください！(1984 基礎工学 武藤拓王)

その15分は、死ぬまで思い出せる15分だ(2013 地球 田中基成)

インカレは晴れの舞台。自信をもって臨んで下さい。(1994 社会工学 まつだじゅにあ)

せっかく開催できたんだから、記憶も記録もしっかり残そう！(1986 社会工学 竹下俊輔)

陰ながら応援しています。貴重な機会を是非楽しんでください。(2016 社会工学 鈴木大喜)

自分の選んだルート信じて、最後まで絶対に諦めないこと。頑張れ！
(2016 生物資源 小竹佳穂)

少年よ、「大気」を抱け(2016 応用理工
高本章寛)

皆さんそれぞれ快走できるよう頑張って
下さい!!(2015 応用理工 仁野平拓)

前に、前に、突き進め。
(2016 社会工学 横山司)

1秒でも速く、全力で。
(2016 比較文化
増澤すず)

防寒対策はしっかりと！
(2012 応用理工
那須佳祐)

OL愛好会時代は
駐車場整理係&宴会要員
でしたが、現職で地図読み
の技術が役立っています。
16時～日没の間に支持者宅
を何軒回ることができるか、
地図を片手に里道を駆け抜けて
おります。

(追伸)10月25日の
光市議会議員選挙で4選しました。
[http://www.giin.jp.com/
taku_sasai/](http://www.giin.jp.com/taku_sasai/)
(1985 社会工学 笹井琢)

森を駆けろ！
(2011 工学システム 後藤孔要)

筑波大学オリエンテーリングOB・
OG会 一桐嶺会 一同

醒
め
て
起
て



みなさん持てる力を存分に発揮してください。(最近、近畿大学で地図作りも教えています) 良い結果を期待しています。

0 期 安藤尚一

体は熱く、心は冷静に。思いっきり楽しんでください。

5 期 大里真理子

大変な時期に努力されていることと思います。本番で努力されてきた事が発揮できる事を願いますが努力してる事自体がこれからの人生にプラスになると思います!

11 期 浅田裕之

この状況で走れる喜びを感じて走り切れ!!

13 期 佐々木順

コントロールを飛ばして 2 周しないよう気をつけつつ、インカレに夢中になってください。応援してます!

32 期 結城克哉

インカレが無事開催されることへの喜びを胸に、最後まで全力で!

33 期 石野夏幹

自分にとって大事なことを大切に。

37 期 瀬川出

失格にならないよう気を付けてください!

37 期 平山遼太

最後の最後まで諦めない、それだけで数秒の有利不利はひっくり返せるはずです。遠い空の下からエールを送ります。がんばれ!

37 期 増田健也

今までやってきたことをいつも通りに、この舞台を楽しんで、最後まで全力で!

37 期 松尾怜治

応援しています。力をしっかり発揮できるように、調整してください!

37 期 三科圭史

今までと違うインカレに戸惑うことも多いかもしれないけど、楽しんで走り抜けてください!心から応援しています。

38 期 中島緑里

志高く!

38 期 濱宇津佑亮

例年の秋インカレと違って気温がかなり低いと思います。十分なアップと体調管理をして挑んでください。いつも通りの実力が発揮できるよう祈っています。

39 期 石田晴輝

自分のありたい姿を目指して、最後のその瞬間までを全力で駆け抜けろ。

39 期 比企野純一

クールに熱く闘ってきてください

39 期 木下達仁

運営者も競技者も楽しんでください!

39 期 佐藤公洋

スプリント!体調には気をつけて、楽しんできてください!寒いと思うのでケガしないようにね、東京から応援してます~

39 期 鹿野梨佳子



頑張れ、 東大OLK

杏友会一同

前日にしっかり寝て、当日はいつも以上に落ち着いて大舞台に臨んでください。

35 期 伊東瑠実子

エントリーリストで、みんなの名前を見るだけで元気がもらえます。

当日は思いっきり楽しんで!

立教、まいな一、もんじ、OLK 頑張れ~!!!

36 期 糸賀彩夏

厳しい状況の中でも着実に練習してきた経験が、当日きっと活きると思います。最後まで集中して走りきって下さい!

36 期 猪俣祐貴

今この瞬間から最後まで冷静なメンタルで走り切れ。頑張って。

37 期 加藤岬

いつもと勝手が違っても、やることは変わらない。15 分間の集中力。

38 期 村井智也

enjoy orienteering!!

38 期 三上拓真

自分を信じて。最後まで迷いなく、揺るがずに走り抜こう。

38 期 佐藤遼平

ルールとマナーを守って楽しくオリエンテーリングしよう!

38 期 新田見優輝

スプリントは常に集中し続けることが大事です。次の一歩その次の一歩で最善の動きを積み重ねていこう。

38 期 横堀聖人

持てる力を出し切って楽しんできてください!

39 期 小林美咲

数少ないインカレという大舞台、後悔のないよう楽しんできて!

応援してます!

39 期 海老原稜大

自分らしく闘おう。

39 期 後藤和樹

みんなが笑顔の大会でありますように。

39 期 塚田恵理

レースが始まってしまえば終わるまでは本当に一瞬。地図と目の前の景色に集中、自分の力を信じて疾走、最後の最後まで全力!

39 期 後藤幸大

若き血に燃ゆる者 がんばれ！

KOLC

目の前の1レグ1レグ、一瞬一瞬を、
目一杯・全力で楽しんでください。

45期 田中

インカレでしか見えない景色を見るために、全力を出し切っ
てください。祝勝会を楽しみにしています。

45期 橘

がんばれKOLC！

46期 大類

やってきたことは裏切りません、己と仲間を信じて全力を尽
くして下さい。俺たちは強い！楽しんで！

46期 吉澤

まず、大会を開催してくださる運営者への感謝を忘れずレー
スを走りましょう。そして、十分な対策をして本番に臨みま
しょう。スプリントという1秒を争う競技だからこそ、冷静
に地図を読み、最善のナビゲーションを心掛けてください。
応援しています。

47期 伊藤

結果よりも、一瞬のナビゲーションに全力で！

47期 稲森

俺の全力見せるから君の全力見せてくれ

47期 上島

一発勝負 当たって突き抜けろ！

47期 濱野

最後までしっかり集中しよう！頑張れKOLC！

47期 平松

全力で走って、全力で楽しめ！！

47期 石井

今回は運営側から皆さんを見守っています
最高のインカレをぜひ楽しんでいきましょう！

48期 西下

残り1週間、皆が上島浩平になり切り、最後のあがきをしよう
レースでは笑ってゴールして下さいね

48期 清水

スプリントは努力した結果が1番現れやすい競技です。
皆さんの努力の成果を楽しみにしています。

48期 茂原

狙いに行く人も、挑戦する人も、腕試しする人も、
みんな楽しんで頑張ってください！

48期 古谷

しんどくても足を止めずに走り切れ！

48期 篠塚

ベストを尽くせ！！

今自分にできる最高の走りを！

48期 桃井

自信を持って全力で楽しんでください！
応援してます！

48期 杉山

コツコツ積み上げたことは力になる。
継続は力なり。

48期 藤原

47期 村田



丘の上一同 応援しています

千葉大

頑張れ



鳩の会は千葉大OLCを応援しています

頑張れ!! 東工大OLT

競技終了までコンパスは
いつも肌身離さずに持ち
歩こう!
桑原(37期)

インカレは何が起こる
かわからない! 最後ま
で全力で走り切れ!!
徳増(34期)

ポス番見る、DISQに気を
つける、最後まで諦めず走
る、それで十分!
村上(27期)

このご時世の中で開催に
向けて尽力してくださった
実行委員会の皆さんに
「感謝と恩返し」
できるように「全集中」
で臨んでください。OLT
の皆さんの活躍が「楽し
みdeath!」
奥田(16期)



今を大切に。悔いの残ら
ないよう最後まで頑張
れ!
藤本(38期)

インカレを堪能できるの
は学生だけ。だから悔い
なく全力で走ってきてく
ださい。
坪居(24期)

地図やコンパスを見て走
ることもそうですが、何
より楽しんでくださ
い!!
岡田(39期)

冷静に走れ! 焦らず急げ!
あとはレースを楽しんで!
若松(39期)

KOLA(岸和田オリエンテーリング協会)

～楽しいことをより楽しく～



栗本美緒(津田塾大)

高野陽平(神戸大)

小笠原萌(奈良女子大)

KOLAには競技派な人はあまりいないのですが、
毎年必ず3回大会を運営していたり、リレーは複
数チーム出したりとゆるいながらもオリエンを参加
者としても運営者としてもちゃんと楽しむ雰囲気
が僕は好きです。



公式HP

Twitter



正解を選ぶのではなく、
選んだ道を正解にしてい
く。それが我らのオリエン道!!

OB1 石田

今まで練習してきたことが全てです。
落ち着いて今できることを大切に
して下さい。

OB1 金田

その1秒を削り出せ。

OB4 菅野

ちゃんと地図を読んで走った人が勝つと
思います。なぜなら私は、ちゃんと地図を
読んで走った人が勝つと思うからです!

OB2 青田



越王会 一同

ポス番チェックはしっかりと。

OB1 外石

それぞれのインカレ、それぞれのレースを。

OB3 鹿島

ペナ厳禁!!

OB3 郷

満足のいくレースを! 楽しいレースを!
応援しています。

OG1 藤田

皆が得意なスプリント、普段通りやれば
いい結果になるはず!!

OB1 池田

さらに向こうへ! Plus Ultra!

OB1 山下



がんばれ！ ES関東クラブ



現役生の皆さんを応援しています。満足のいく走りを！運営もファイト！

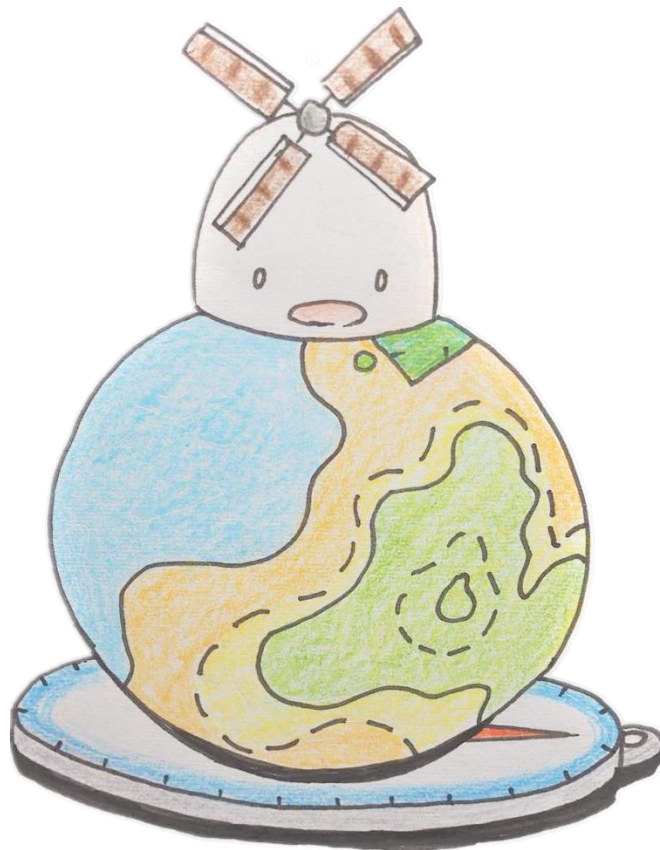
生田峻（関東学院）・田中瑠偉（法政）・伊地知淳（千葉）・高橋英人（一橋）
小林璃衣紗（青山学院）・金子詩乃（日本女子）・富山詩央里（実践女子）

✿新入会員募集中：<https://eskantoc.com/member/entry/>✿



ENJOY
ORIENTEERING!

オリエンティア Advent Calendar
Since 2016



大会公式キャラクター

「みるみる」

走ってみるみる、つぼってみるみるを合言葉に、参加者を那須の迷宮にいざなう精霊。
頭には直径 15m の羽をもつオランダ式風車があり、参加者に那須の厳しい冷風を叩き付ける。
体の模様である等高線はコースプランナーK 氏の指摘により何度も修正調査されたい。

2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
スプリント競技部門
要項3（プログラム）

発行日：2020年11月29日

発行者：2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
スプリント競技部門 実行委員会

発行責任者：谷野 文史(実行委員長)

編集責任者：楊 馨逸(広報責任者)